

単位数／配当時数	対象児童	担当者名	教科書／副教材
350	0名		せいかつ☆

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。(Ⅰ段階)				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。(Ⅰ段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に活かそうとしたりする態度を養う。(Ⅰ段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
4月	31		(知及び技) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付ける。【ア-(イ)】 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、なるべく自分で行おうとする。【ア-(ア)】 (学・人) 自分のことに取り組んだり、生活を豊かにしようとしたりする。	(知・技) 必要な身辺処理や集団での基本的な生活習慣が分かっている。 (思・判・表) 簡単な身辺処理に気付き、日常生活に役立てようと工夫している。 (主学) 自分のことに取り組んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。	基本的生活習慣 ①食事 ②用便 ③清潔 ④身の回りの整理 ⑤身なり (年間を通して)	1 食事の時のマナー 2 トイレの使い方 3 手を洗おう 4 ロッカーの使い方 5 歯を磨こう	国「説明文を読もう」 算「しらべよう」
			(知及び技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 【シー (イ)】 (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それをみんなに伝えようとすることができる。 【シー (ア)】 (学・人) ものの仕組みの興味を持ち、学習に取り組もうとする。	(知・技) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かっている。 (思・判・表) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、考えてそれらを表現している。 (主学) 学習に取り組もうとしている。	ものの仕組みと働き ①物の重さ (年間を通して)	1 物の重さに関心をもつ。 2 容器に入れた水の量の違いにより、「重い・軽い」という感覚を経験する。	国「図書室へ行ってみよう」 算「くらべてみよう」 「かさ」をはかる 図「作ってみよう～動くオモチャ～」
5月	32		(知及び技) 簡単な日課について、関心をもつ。【ウー (イ)】 (思判表力) 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一緒に日課に沿って行動しようとする。【ウー (ア)】 (学・人) 日課・予定に見通しを持って自分のことに取り組んだり、生活を豊かにしようとしたりする。	(知・技) 日常生活の日課・予定が分かっている。 (思・判・表) およその予定を考えながら、教師の支援を受けながら考え見通しを持って行動している。 (主学) 日課・予定に見通しを持って自分のことに取り組んだり、生活を豊かにしようとしたりできている。	日課 ①日課に沿って行動する (年間を通して)	1 日課に沿って行動し、学校生活に簡単な見通しをもつ。	国「説明文を読もう」 算「しらべよう」
			(知及び技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。【コー (イ)】 (思判表力等) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それをみんなに伝えようとする。【コー (ア)】 (学・人) ・地域について関心を持ち、考えて調べたり表現しようとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かっている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かり、考えてそれらを表現している。 (主学) 地域について関心を持って考えて調べたり、表現しようとする。	社会の仕組みと公共施設 ①家族・親戚・近所の人 ②学校 (年間を通して)	1 自分の父母、兄弟姉妹、祖父母が分かり、家族と気持ちを安定させて生活する。 2 隣近所の人に関心をもつ。 3 校内探検等を通して、自分の教室や音楽室、図書室等に関心をもつ。 4 教室や音楽室、図書室等の場所や名称を知る。 5 担任の先生や保健室の先生等自分に身近な先生が分かり、気持ちを安定させて生活する。	

1 学期	6月	32	(知及技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。【カー(イ)】 (思判表力) 身の回りの集団に気付き、参加しようとするができる。【カー(ア)】 (学・人) さまざまな役割活動に取り組もうとする。 (知及技) 身の回りの人との関わり方に関心をもつことことができる。【オ- (イ)】 (思表判等) 教師や身の回りの人に気付き、簡単な挨拶などをしようとする。【オ- (ア)】 (学・人) 教師や身の回りの人に気付き、関わろうとする。 (知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。【コー(イ)】 (思判表力) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。【コー(ア)】 (学・人) 地域について関心を持ち、学習に取り組もうとする。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。 (思・判・表) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加している。 (主学) さまざまな役割活動に取り組んでいる。 (知・技) 身近な人との簡単な対応の仕方を理解している。 (思・判・表) 教師や身の回りの人に気付き、簡単な挨拶などをしようとしている。 (主学) 自分との関わりが分かり、考えて簡単な対応などをしようとしている。 (知・技) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かっている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かり、考えてそれらを表現している。 (主学) 地域について関心を持って考えて調べたり、表現しようとする。	役割 ①集団の参加や集団内での役割 (年間を通して) 人との関わり ①自分自身と家族 ②身近な人との関わり (年間を通して) 校外学習に行こう (I) 社会の仕組みと公共施設 ①公共施設の利用 ②交通機関の利用 (年間を通して) ・事前学習 ・事後学習	1誕生会や校外学習、学習発表会等に参加する。 2 教師と一緒に、あいさつの号令かけや黒板ふきなどの係活動をする。 1 自分の名前がわかり、名前を呼ばれたときに身振りや表情、挙手や発声等で応答する。 2 教師や友達の名前がわかる。 3 友達と手をつなぐ。 4 教師と一緒に頭を下げたり、握手したりしてあいさつする。 5 表情、身振り、動作、声、絵カードなどで自分の要求を表現する。 1 教師と一緒に公園や図書館、駅等の身近な公共施設を利用する。 2 バス等を利用し、乗り降りするときには定期券を見せたり、現金で料金を支払ったりするなど様々な方法があることを知る。 3 通学のバスに乗ることに慣れる。	国「お店の人に聞いてみよう」 算「金銭」
		7月 32	(知及技) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもつ。【エー(イ)】 (思判表力) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。【エー(ア)】 (学・人) 決まりについて気付くとともに、色々な遊びを通して生活を豊かにしようとしたりする。 (知及技) 金銭の扱い方などに関心をもつことができる。【ク- (イ)】 (思判表力) 身の回りの生活の中で、金銭を扱おうとすることができる。【ク- (ア)】 (学・人) 金銭の扱い方に関心を持ち、金銭を扱おうとする。	(知・技) 友達と仲良く遊ぶことができる。 (思・判・表) 決まりを守って遊ぼうと工夫している。 (主学) 決まりについて関心を持ち、色々な遊びを通して生活を豊かにしようとしている。 (知・技) 金銭の扱い方などの知識や技能を理解している。 (思・判・表) 身近な生活の中で、金銭の価値や必要性に気づいている。 (主学) 金銭の扱い方に関心をよせ、考えて金銭を扱おうとしている。	遊び ①いろいろな遊び ②遊具の後片付け (年間を通して) 金銭の扱い ①金銭の扱い (年間を通して)	1 教師や友達と同じ場所で、好きなことをして遊ぶ。 2 教師のまねをして手足を動かして遊ぶ。 3 テレビや絵本など友達と一緒に楽しむ。 4 おもちゃなど身近にある物で遊ぶ。 5 ぶらんこ、すべり台、砂場等で遊ぶ。 6 教師の言葉かけで遊具等の後片付けをする。 1 お金が必要なものであることが分かり、粗末に扱わない。 2 いろいろな種類の硬貨や紙幣があることを知る。 3 お店の人にお金を渡したり、お金を財布に入れたりする。	

2 学 期	9月	32	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 【シー (イ)】 (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それをみんなに伝えようとする ことができる。 【シー (ア)】 (学・人) ものの仕組みの興味を持ち、学習に取り組もうとする。	(知・技) ・日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かっている。 (思・判・表) ・日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、考えてそれらを表現している。 (主学) ・学習に取り組もうとしている。	ものの仕組みと働き ①風やゴムの力の働き (年間を通して)	1 風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつ。 2 かざぐるまや紙コップロケット等、風やゴムの力で動く簡単なおもちゃを作り、動く様子に関心をもつ。	国「図書室へ行ってみよう」 算「くらべてみよう」 「かさ」をはかる 図「作ってみよう～動くおもちゃ～」
	10月	32	(知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。【コー (イ)】 (思判表力等) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それをみんなに伝えようとする ことができる。【コー (ア)】 (学・人) 地域について関心を持ち、考えて調べたり、表現しよう と取り組もうとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かっている。 (思・判・表) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かり、考えてそれらを表現している。 (主学) 地域について関心を持って考えて調べたり、表現しよう と取り組もうとしている。	社会の仕組みと公共施設 ①いろいろな店 ②社会の様子 (年間を通して)	6 近隣や通学路にある店に関心をもつ。 7 学校や家の近所の商店や公園、駅等に目掛け関心をもつ。	
	11月	32	(知及技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。 【カー (イ)】 (思判表力) 身の回りの集団に気付き、参加しようとする ことができる。 【カー (ア)】 (学・人) さまざまな役割活動に取り組もうとする。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもつことができている。 (思・判・表) 身の回りの集団に気付き、参加しよう と工夫している。 (主学) さまざまな役割活動に取り組んでいる。	役割 ①地域の行事への参加 (年間を通して)	3 地域の行事に参加する。	
	12月	32	(知及技) 教師と一緒に、公共施設でマナーを守って過ごすことができる。 【コー (イ)】 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もう とすることができる。 【コー (ア)】 (学・人) 教師と一緒に、校外学習の日程や予定について見通しをもとうとする。	(知・技) 教師と一緒に、公共施設でマナーを守って過ごすことができる。 (思判表力) 身の回りの安全に気付き、教師と一緒に安全な生活に取り組もう としている。 (主学) 教師と一緒に、校外学習の日程や予定について見通しを 持とうとしている。	金銭の扱い ①買い物 ②自動販売機の利用 (年間を通して)	4 品物を選んでレジまで持っていく、お店の人に お金を渡したり、品物を袋に入れる。 5 自動販売機を利用する。	国「お店の人に聞いてみよう」 算「金銭」 「くらべてみよう」 図「描いてみよう」

3 学 期	1 月	64	(知及技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。【シー(イ)】 (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それをみんなに伝えようとする。【シー(ア)】 (学・人) ものの仕組みの興味を持ち、学習に取り組もうとする。	(知・技) 日常生活の中でもものの仕組みや働きが分かっている。【(思・判・表)】 日常生活の中でもものの仕組みや働きが分かり、考えてそれらを表現している。【(主学)】 ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べたり表現しようとしている。	ものの仕組みと働き ②風やゴムの力の働き(年間を通して)	3 風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつ。 4 かざぐるまや紙コップロケット等、風やゴムの力で動く簡単なおもちゃを作り、動く様子に関心をもつ。	国「図書室へ行ってみよう」 算「くらべてみよう」 「かき」をはかろう」 図「作ってみよう～動くおもちゃ～」
			(知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。【コー(イ)】 (思判表力等) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それをみんなに伝えようすることができる。【コー(ア)】 (学・人) 地域について関心を持ち、考えて調べたり、表現しように取り組もうとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かっている。【(思・判・表)】 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かり、考えてそれらを表現している。【(主学)】 地域について関心を持って考えて調べたり、表現しように取り組もうとしている。	校外学習に行こう (3) 社会の仕組みと公共施設 ①公共施設の利用 ②交通機関の利用 (年間を通して)	8 教師と一緒に公園や図書館、駅等の身近な公共施設を利用する。 9 バス等を利用し、乗り降りするときには定期券を見せたり、現金で料金を支払うなど様々な方法があることを知る。 10通学のバスに乗ることに慣れる。	
	3 月	31	(知及技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。【カー(イ)】 (思判表力) 身の回りの集団に気付き、参加しようとする。【カー(ア)】 (学・人) さまざまな役割活動に取り組もうとする。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもつことができる。【(思・判・表)】 身の回りの集団に気付き、参加しようとする。【(主学)】 さまざまな役割活動に取り組んでいる。	役割 ①共同での作業と役割分担 (年間を通して)	4 給食のときに食器を並べたり、牛乳を配ったりする等の係活動をする。	
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・行動観察・授業に対する取り組み姿勢 ・理解度・習得度					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
105	0名		こくご☆

			(知及び技) 知識及び技能	日常生活に必要な身近な言葉が分かり、使えるようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。(Ⅰ段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。(Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。(Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	9	(知及び技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることができる。【ア－(ア)】 (思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。【A－イ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。(Ⅰ段階)	(知・技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることができる。 (思・判・表) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりしようとしている。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	呼びかけてみよう ・自己紹介 ・おーい	・絵を見ながら教師と一緒に登場人物の音声や動きの模倣をする。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。 ・自分と登場人物を置き換えたり、教師や友達と役割分担をしながら繰り返し「おーい」と声を出して呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりしてやりとりを楽しむ。	算数 「さわってみよう、探してみよう」 音楽 「どんなうたがあるかな」 特別の教科 道徳 「友達と仲よく」 特別活動 「どうぞよろしくね会」
	5月	9	(知及び技) いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。【イ－(ウ)⑦】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。【イ－(ウ)⑧】 (思判表力) 文字に興味をもち、書こうとすることができる。【B－イ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。(Ⅰ段階)	(知・技) いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 ・筆記具の持ち方、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 (思・判・表) 文字に興味をもち、書こうとすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに言葉を使おうとしている。	かいてみよう ・いろいろな線、形	・クレヨン、水性ペン等の筆記具を使っていろいろな線や形を書く。	算数 「いろいろな形をみつけよう」 図画工作 「作ってみよう」
	6月	10	(知及び技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【イ－(エ)】 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。【C－ア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。(Ⅰ段階)	(知・技) 読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	絵本を読もう ・あなたはだあれ	・動物のシルエットを提示し、「この動物はなんでしょう」等と問いかける。 ・動物の動作や鳴き声などを模倣しながら、やりとりの楽しさを味わえるようにする。 ・お面やペープサートなどを用い、動物役を決め、物語を再現して楽しむ。 ・写真カードや動物の鳴き声で動物当てゲームをしながら、様々な動物の名前等と言う。	算数 「見た目の大きさを分けてみよう」 図画工作 「作ってみよう」

	7月	10	（知及技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。【アー（ア）】（思判表力）絵や矢印などの記号で表された意味に応じ行動することができる。 【C-（ウ）】（学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。【アー（ア）】（思・判・表）絵や矢印などの記号で表された意味に応じ行動することができる。 （主学）言葉で表すことやそのよさを 感じるとともに、言葉を使おうとしている。	どんな意味かな ・しるし ・記号 ・きまり	・提示された矢印の方向に体を動かすゲームを行う。 ・示された絵や矢印の記号を見ながらその場所へ移動する。 ・場所を表す絵や写真から自分が行きたい場所を選び、絵や矢印の記号を見て移動する。	算数 「おなじものをさがそう」 特別の教科 道徳 「きまりを守って」
	9月	10	（知及技）昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。【イー（ア）】（思判表力）教師の話や読み聞かせに応じ音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。【A-ア】（学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）昔話などについて、教師の支援を受けながら読み聞かせを聞くなどして親しむことができる。 （思・判・表）教師の話や読み聞かせに応じ、教師の支援を受けながら音声を模倣したり、表情や身振り、簡単な話し言葉などで表現したりすることができる。 （主学）言葉で表すことやそのよさを 感じるとともに、言葉を使おうとしている。	絵本を読もう ・くまさんくまさん	・歌を聴いたり、手拍子でリズムをとりながら台詞を言ったりする。 ・物語の一場面を簡単な言葉で表現する。「あくしゅ」「さようなら」「ばいばい」など。 ・お面などを活用し、教師と子供役、くま役になって遊ぶ。 ・児童同士で子供役、くま役を演じたり、くまさんの表現を自由に表現したりする	算数 「おなじ大きさを合わせてみよう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「いつも素直に」 特別活動 「お祝いしよう（1）」
2学期	10月	10	（知及技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。【アー（ア）】（思判表力）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。【A-（ウ）】（学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。【アー（ア）】（思・判・表）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 （主学）言葉で表すことやそのよさを 感じるとともに、言葉を使おうとしている。	絵本を読もう ・ほっとけ一き	・絵を見ながら、知っている事物や出来事などを指さしたり、表情や身振り、音声で応答したりする。 ・絵を示しながら、「次は何をすかな」「どんな音かな」等、児童が自身の経験と照らし合わせたり、て考えたりする。 ・具体物や絵を見て言葉と結び付ける。 ・児童が見聞きしたことや感じたこと等を具体物や絵、写真等を手掛かりして想起したり、表情や身振り、音声で模倣したりして応答する。	算数 「おなじものをさがそう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「いつも素直に」 特別活動 「学年紹介（1）」
	11月	10	（知及技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。【アー（ア）】（思判表力）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。【A-（ウ）】（学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。【アー（ア）】（思・判・表）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 （主学）言葉で表すことやそのよさを 感じるとともに、言葉を使おうとしている。	絵本を読もう ・ほっとけ一き ・観劇鑑賞	・絵を見ながら、知っている事物や出来事などを指さしたり、表情や身振り、音声で応答したりする。 ・絵を示しながら、「次は何をすかな」「どんな音かな」等、児童が自身の経験と照らし合わせたり、て考えたりする。 ・具体物や絵を見て言葉と結び付ける。 ・児童が見聞きしたことや感じたこと等を具体物や絵、写真等を手掛かりして想起したり、表情や身振り、音声で模倣したりして応答する。	算数 「おなじものをさがそう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「いつも素直に」 特別活動 「学年紹介（1）」

	12月	10	（知及技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。【イー（ウ）⑦】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。【イー（ウ）⑧】 （思判表力）文字に興味をもち、書こうとすることができる。【Bーイ】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 ・筆記具の持ち方、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 （思・判・表）文字に興味をもち、書こうとすることができる。 （主学）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに言葉を使おうとしている。	かいてみよう ・年賀状	・年賀状に関連する言葉を聞いたり、いろいろな線で絵を表現したりする。	算数 「大きさの違うものを運んでみよう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「いろいろな挨拶②」 特別活動 「2学期頑張った会」
	1月	9	（知及技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。【イー（ウ）⑦】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。【イー（ウ）⑧】 （思判表力）文字に興味をもち、書こうとすることができる。【Bーイ】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 ・筆記具の持ち方、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 （思・判・表）文字に興味をもち、書こうとすることができる。 （主学）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに言葉を使おうとしている。	かいてみよう ・すみあそび	・鉛筆、筆等の筆記具に触れる。 ・筆で自由に線や文字を書く。	算数 「大きさの違うものを運んでみよう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科 道徳 「いろいろな挨拶②」 特別活動 「3学期頑張ろう会（1）」
3学期	2月	9	（知及技）言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。【アー（イ）】 （思判表力）身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 【Bーア】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 （思・判・表）身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 （主学）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	言葉で遊ぼう ・ばくのいちにち	・絵を見ながら、登場人物の動きを教師と一緒に模倣したり、様子や音を表す言葉、話している挨拶等を教師と一緒に言葉や動きで表現したりする。 ・絵や写真等を見ながら、教師の発問を聞き、言葉や動作で自由に表現したり、提示された実物や写真、絵カードを選んだり指さしたりして繰り返しやりとりをする。 ・絵を見ながら、教師の音声を模倣してみたり、教師と一緒に言葉で表現してみたりする。	算数 「1ずつ合わせてみよう」 図画工作 「作ってみよう」 特別の教科 道徳 「日頃お世話になっている人」 特別活動 「係の仕事しよう（1）」
	3月	9	（知及技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【イー（エ）】 （思判表力）絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。【Cーイ】 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。【Aーウ】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 （思・判・表）絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現している。 ・伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 （主学）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	話してみよう ・がっこうだいすき	・一場面ずつ絵に注目し、教師と一緒に言葉や擬声語などを声に出す。 ・絵を見て次はどんな場面になるかを教師と一緒に考えたり、表現したりする。 ・教師が言った事物を表す絵カードに視線や意識を向けたり、指さしをしたりする。	算数 「数えてみよう」 図画工作 「見てみよう（鑑賞）」 特別の教科 道徳 「学校は楽しいね①」
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・プリント ・理解度・習得度 ・行動観察				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	0名		さんすう☆

年間目標		(知及び技) 知識及び技能		数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小知的1～3段階)			
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小知的1～3段階)			
		(学・人) 学びに向かう力、人間性等		数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小知的1～3段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点他 教科との関連
1 学 期	4月	6	(知及技) ものの有無に気付くことができる。(Bア(ア)ア) (思判表力) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) ものの有無に気付いている。 (思・判・表) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P28 ・ある、ない③	・具体物の個数が減少していき、なくなること学習する。実際に具体物进行操作して、視覚や触覚で体感させる。現象の変化と自分の操作、「ある、ない」等の言葉を結びつけていくようにする。	音楽「3びきのやぎのがらがらどん」
	5月	6	(知及技) ・目の前のものを1個、2個、たくさんで表すことができる。(Bア(ア)イ) ・5までの範囲で数唱することができる。(Bア(ア)ウ) (思判表力) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) ・目の前のものを1個、2個、たくさんで表している。 ・5までの範囲で数唱している。 (思・判・表) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P30 ・いち、に、たくさん ☆本P32 ・いち、に、さん、し、ご	・左右の手に一つずつ具体物を持ち、まだ両手には持てないほどの具体物がある状況を体感する。 ・操作を通して、「数えること」があることに気付かせ「1個、2個、たくさん」と表現するなど、「数唱」することについて学習する。 ・5までの範囲の数唱では、「数を数えること」ではなく「数を唱える」ことに留意する。日常生活の中でも、指差しや指を折りながら数唱することの体験を重ねる。	国語「呼びかけてみよう」
	6月	8	(知及技) 3までの範囲で具体物を取っている。(Bア(ア)エ) (思判表力) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) 3までの範囲で具体物を取っている。 (思・判・表) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P34 ・とりましよう	・視覚や聴覚、触覚など様々な感覚を通して、「数を捉えること」ができるようにする。 ・教科書のイラストのように、配る皿やトレイ、配る相手、数詞の「さん」などを手がかりに、必要な具体物を手に取る活動を行う。	
	7月	6	(知及技) 対応させてものを配ることができる。(Bア(ア)オ) (思判表力) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技) 対応させてものを配っている。 (思・判・表) 数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P36 ・まーくに、あわせて、ならべましよう	・教科書のイラストを参考に、実物を使って、実際にボウリングのピンを並べる活動をする。 ・ピンを手に取る前に、数唱を聞きながら、あるいは、自分で唱えながらマークを指差す。マークの数を手がかりにピンを手に取り、並べる。	

2 学 期	9月	6	(知及技) 形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付くことができる。(Bア(ア)力) (思判表力) 数詞ものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。(Bア(イ)ア) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味を持っている。	(知・技) 形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについている。 (思・判・表) 数詞ものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P44 ・ぜんぶ、「さん」	・りんごの「3個」も積み木の「3個」も同じ「3」で表すことや3個のリングの置き方を変えても「3」という数に変わりはないという学習を行う。 ・おはじきやひまわりのカードなど具体物を間隔を揃えたり、間隔を離したりして数えさせる。 ・教科書のおはじきのイラストに実際におはじきを乗せて数えたり、おはじきをずらして数えたりする。	
	10月	6	(知及技) 形が同じ物を選ぶことができる。(Cア(ア)㊦) (思判表力) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付く、日常生活の中で関心をもつことができる。(Cア(イ)㊦) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	(知・技) 形が同じ物を選んでいる。 (思・判・表) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付く、日常生活の中で関心をもっている。 (主学) 日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	○おなじものをさがそう ☆本P54～57 ・おなじかたちをみつけましょう ・おなじかたちをえらみましょう ※2年生では立体図形を扱う。	・1年生の復習をしながら、平面図形から立体図形に発展させていく。 ・立体図形の学習として積み木を使用し、児童が操作することで体験的に形を認識できるようにする。 ・複雑な形の積み木は使用せず、立方体や円柱、三角柱などの形が明確に分けられるものを使用する。 ・立体の中から平面での形を捉えられるように、積み木が通る穴の開いた教材を用意し、穴を通して形を捉えられるようにする。	
	11月	8	(知及技) ・似ている二つのものを結び付けることができる。(Cア(ア)㊥) ・関連の深い一対ものや絵カードを組み合わせたことができる。(Cア(ア)㊦) ・同じもの同士の集合づくりをすることができる。(Cア(ア)㊦) (思判表力) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付く、日常生活の中で関心を持つことができる。(Cア(イ)㊦) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	(知・技) ・似ている二つのものを結び付けている。 ・関連の深い一対ものや絵カードを組み合わせている。 ・同じもの同士の集合づくりをしている。 (思・判・表) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気付く、日常生活の中で関心を持っている。 (主学) 日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	○おなじ、ちがいをさがそう ☆本P62～63 ・にているものをみつけましょう ☆本P64～65 ・そろえましょう ☆本P66～69 ・おなじかたちをあつめましょう	※平面図形、立体図形共に扱っていく。 ・校内探索を行い、似ている形も含めて丸、三角、四角の形探しを行う。(正方形と長方形を似ている形として捉えさせるなど) ・積み木の立方体と直方体、円柱の高さが違うものなどを用意し、見る角度を示すことで、同じ部分と違う部分を感覚的に感じられるようにする。 ・ひとつの積み木を示して、教室中から同じ形のものを探すなどのゲームを行う。 ・児童の興味のあるお菓子の箱などを用意し、積み木と同じ形や似た形を探す。 ・手袋や靴下、靴など実物を用意し、バラバラになったものを揃えて片付ける。靴は左右にも意識させる。 ・トイレのスリッパを揃える活動を通して、日常的に一対を仲間にする活動を行う。	
	12月	6	(知及技) ・大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。(D測定ア(ア)ア) ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。(Dア(ア)イ) (思判表力) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。(Dア(イ)ア)	(知・技) ・大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別している。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現している。 (思・判・表) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 (主学)	見た目の大きさを分けてみよう ☆P74～75 ・おおきいちいさい②	・大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」、「同じ」に区別し、用語を用いる。 ・大きい粘土のかたまりと小さい粘土のかたまりを作る。 ・大きい粘土のかたまりと小さい粘土のかたまりを操作し同じにする。 ・大きい砂山と小さい砂山を作る。 ・大きい砂山と小さい砂山を操作し同じにする。	国語「あなたはだあれ」

3 学 期	1 月	6	(学・人) ・身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	・身の回りの具体物のもつ量の大きさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	比べる言葉 ☆P78～79 ・おい、すくない②	・ほとんど飲んである牛乳瓶とまだ飲んでない牛乳瓶を比べる。 ・コップにお茶やジュースを入れ、目印をもとに比べる。 ・同じコップに多いお茶と少ないお茶を入れる ・多いお茶と少ないお茶を操作し同じにする。 ・基準に対して「多い」「少ない」を区別し、用語を用いる。	国語「あなたはだあれ」
	2 月	6			比べる言葉 ☆P80～81 ・ながい、みじかい	・具体物の長さに関心を持つ。 ・3つの長さの異なる同質の棒をそれぞれの長さのくぼみに入れ道を平らにし、ビー玉を転がしたり、車を走らせたりする。	国語「あなたはだあれ」
	3 月	6			3学期のまとめ ・大きさ、多さ、長さ 1年間のまとめ	・3学期に学習したことを振り返る。 ・2年生で学習したことを振り返る。	国語「あなたはだあれ」
留意点・引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・プリント・理解度、習得度 ・行動観察				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	0		おんがく☆

			(知及び技) 知識及び技能	(1)曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	(2)感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	(3)音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ学期	4月	6	(知及技) 体を動かしたり、声を出したりすることができる。 (Ⅰ段階Aア) (思判表力) どの楽器の音かを聴いて、二択で選ぶことができる。 (Ⅰ段階Bア) (学・人) 拍や曲の特徴的なリズムを感じ取ろうとしている。 (Ⅰ段階)	(知・技) 体を動かしたり、声を出したりすることができる。 (思・判・表) どの楽器の音かを聴いて、二択で選んでいる。 (主学) 拍や曲の特徴的なリズムを感じ取ろうとしている。	○どんなうたがあるかな (音) ・せんせいとおともだち ・ちゅうりっぷ ○楽器の音を聴いてみよう (鑑) ・がっきのおとあて	・教科書のイラストを見て、曲や活動のイメージをもつ。 ・体を動かしたり、声を出したりする。 ・何の楽器の音がしたか、教科書にある楽器を指さす。 ・実際の楽器を見て、楽器の名前や音を確認する。	国語「呼びかけてみよう」 体育「体づくり運動遊び①」 道徳「学校は楽しいね」 特活「どうぞよろしくね会」
	5月	6	(知及技) 歌や音楽を聴いて、歌に合わせて声を出したり、体を動かしたりする。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 歌に合わせて鈴を鳴らそうする。(Ⅰ段階Aア) (学・人) 拍や曲の特徴的なリズムを意識して身体全体を動かそうとする。(Ⅰ段階)	(知・技) 歌に合わせて声を出したり、体を動かしたりすることができる。 (思・判・表) 歌に合わせて鈴を鳴らしている。 (主学) 拍や曲の特徴的なリズムを意識して身体全体を動かそうとしている。	○どんなうたがあるかな ・こいのぼり (音) ・すずのきょく (器) ○楽器の音を聴いてみよう (鑑) ・ことりのうた	・教科書の挿絵や写真、実物を見て鯉のぼりのことを知る。 ・音楽を感じて体を動かしたり歌に合わせて声を出したりする。 ・音楽が流れる中で楽器の音を出す。 ・写真や模型、教科書の挿絵をみて、小鳥のイメージをもつ。 ・音楽を感じて体を動かして遊ぶ。	国語「言葉で遊ぼう」 体育「体づくり運動遊び①」
	6月	6	(知及技) 教師の範唱を聴いて声を出したり、歌の一部分を歌ったりすることができる。 (Ⅰ段階Aア) (思判表力) 教師の示範を見て、音楽に合わせて足踏みや手拍子、楽器、発声等の様々な方法で表現することができる。 (Ⅰ段階Aア) (主学) 模倣して身体各部を動かそうとしている。(Ⅰ段階)	(知・技) 声を出したり、歌の一部分を歌ったりすることができる。 (思・判・表) 音楽に合わせて身体や発声等で表現している。 (主学) 模倣して身体各部を動かそうとしている。	○うたおう (音) ・かたつむり ・ながぐつのマーチ ・おやつたーべよ。 ○みてきいて (鑑) ・はらぺこあおむし	・かたつむりになったつもりで身体表現したり、歌の一部を声で表現したり、歌ったりする。 ・音楽が流れる中で、ドンドン」の部分で足踏みをする。 ・教科書のイラストを見たり教師の歌と動作を見聴きしたりして曲のイメージをもつ。 ・手の平や体をくすぐったり、児童同士で向かい合って互いの体をくすぐったりして楽しむ。	国語「言葉で遊ぼう」

	7月	6	(知及技) 声を出したりメロディーや歌詞を意識して歌ったりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) ツリーチャイム等の楽器を好きなように鳴らすことができる。(1段階Aア) (学・人) 挿絵や絵本を見ながら歌を聴き、登場人物になったつもりで声を出したり、歌を歌ったり、動作をしたりしている。(1段階)	(知・技) 声を出したり、メロディーや歌詞を意識して歌ったりすることができる。 (思・判・表) ツリーチャイム等の楽器を好きなように鳴らしている。 (主学) 登場人物になったつもりで声を出したり、歌を歌ったり、動作をしたりしようとしている。	○うたおう ・たなばたさま (音) ・うみ (器) ○みてきいて (鑑) ・3びきのやぎのらがらどん	・教科書のイラストや写真、笹や短冊などの実物を示し、七夕へのイメージを高める。 ・きれいに響く楽器を自由に鳴らす ・教科書や絵本を使って読み聞かせをしたり、登場人物になって発声や動きなどで表現したりする。	国語「話してみよう」 図工「ちょきちょきペタペタ」
	9月	7	(知及技) 音楽が流れる中で、とんぼになったつもりで身体表現したりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) 伴奏の速度に合わせて体の部位を触ることができる。(1段階Aア) (学・人) 小道具を使って主人公になりきって動いている。(1段階)	(知・技) 身体表現することができる。 (思・判・表) 伴奏の速度に合わせて体の部位を触ろうとしている。 (主学) 小道具を使って主人公になりきって動くことに取り組んでいる。	○からだをうごかさう (音) ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぼん ○いっしょに音を楽しもう (鑑) ・まじよのたつきゅうびん	・ペープサート等を見ながら音楽を聴けるようにして、歌詞の内容をイメージしやすくする。 ・教師が示範を児童の正面で見せ、曲に合わせて身体模倣を行うように促す。 ・教科書の絵や動画を見ながら様子を思い浮かべて聴くようにする。	国語「話してみよう」 体育「体づくり運動遊び」
	10月	7	(知及技) 体を動かしたり、声を出したり、歌ったりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) 音楽が流れる中で、バスごっこ遊びをすることができる。(1段階Bア) (学・人) 運転士になったつもりで、自分なりに表現している。(1段階)	(知・技) 体を動かしたり、声を出したり、歌ったりすることができる。 (思・判・表) 音楽が流れる中で、バスごっこ遊びを表現している。 (主学) 運転士になったつもりで、自分なりに表現しようとしている。	○からだをうごかさう (音) ・おばけなんてないさ ・バスごっこ ○いっしょに音を楽しもう (鑑) ・はたらくくるま	・教科書のイラスト等を見て、おばけのイメージを持つようにする。 ・音楽が流れる中で、バスに乗ったつもりになり、自由にバスごっこ遊びをしたり切符を渡す活動をする。 ・教科書の挿絵や写真を見て鑑賞できるようにする。	体育「体づくり運動遊び」 道徳「働くことのよさ」 特活「校外学習に行こう」
2学期	11月	7	(知及技) いろいろな楽器に興味・関心をもって、自ら手を伸ばしたり、自由に鳴らしたりしながら楽器に親しむ。(1段階Aア) (思判表力) 友達同士で歌詞に合わせて手あそびをして楽しむ。(1段階Aア) (学・人) 音楽が流れる中で、ワルツのリズムで左右に体を動かす。(1段階)	(知・技) いろいろな楽器に興味・関心をもって、自ら手を伸ばしたり、自由に鳴らしたりしながら楽器に親しむことができる。 (思・判・表) 歌詞に合わせて手あそびをしている。 (主学) ワルツのリズムで左右に体を動かそうとしている。	○楽器をならそう (音) ・がっきをならそう ○おかいあってたのしくあそぼう (音) ・びすけっとをやきましよう ○うたやりズムを楽しもう (鑑) ・おどるこねこ	・教科書の挿絵やイラストカード、写真カード、実際の楽器を示して、鳴らす楽器を確認できるようにする。 ・児童と向かい合って、児童の手のひらや体をくすぐって遊んだり、教師の模倣をできるように促したりする。 ・音楽が流れる中で、左右に体を動かすように促したり、猫の鳴き声に気付けるようにしたりする。	国語「絵本を読もう①」 道徳「友達と仲よく」

3 学 期	12月	7	(知及技) 大太鼓、小太鼓を演奏したり、それぞれの楽器の役割を決めて演奏したりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) 音楽が流れる中で、松ぼっくりや猿になったつもりで身体表現することができる。(1段階Aア) (学・人) 曲に合わせて足踏みや行進をしたり、トランペットを吹く真似をしたりしている。(1段階)	(知・技) それぞれの楽器の役割を決めて演奏したりすることができる。(思・判・表) 音楽が流れる中で、身体表現している。(主学) 曲に合わせて足踏みや行進をしたり、トランペットを吹く真似をしようとしている。	○楽器をならそう(音) ・おおきなたいこ ・まつぼっくり ○うたやリズムを楽しむ(鑑) ・おもちゃのへいたい	・大太鼓、小太鼓を鳴らして遊ぶようにしたり、児童がそれぞれの楽器の役割を決めて演奏したりするようにする。 ・音楽が流れる中で、松ぼっくりや猿になったつもりになって、転がったり食べる真似をしたりして身体表現するように促す。 ・自然に体を動かす事が難しい児童のために、教師が兵隊のように足踏みや行進する示範を見せ、一緒に活動する。	算数「見た目の大きさを分けてみよう」 「比べる言葉」
	1月	6	(知及技) ・リズムに合わせて様々な動きで、体を動かしたり、声を出したりしながらやりとりすることができる。(1段階Aア) ・季節やわらべ歌などの音楽を聴き、イメージしながら声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現することができる。(1段階Aア) (学・人) 音や音楽に気付いて、音楽活動に楽しんで取り組んでいる。(1段階)	(知・技) ・リズムに合わせて、動物の真似っこをしたり、声を出したりできている。 ・季節やわらべ歌などの音楽を聴き、声を出したり、歌ったりできている。(思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。(主学) 音や音楽に気付いて、音楽活動に楽しんで取り組んでいる。	○どうぶつになってあそぼう(音) ・のねずみ ・くまさんくまさん ○わらべうたであそぼう(音)(鑑) ・おちたおちた	・児童同士が向かい合って、くすぐりなどで触れ合って遊ぶ。 ・児童が歌詞に合わせた動作で踊ったり、教師が示した動作を模倣して踊ったりする。 ・教科書の挿絵を示しながら、教師が「落ちた落ちた、何が落ちた?」と歌いかけ、児童が落ちた物を指定し、「ドーン」「ヒュー」「キラキラ」「ゴロゴロ」などの擬態語を添えて、身体表現する。	国語「絵本を読もう②」 体育「表現遊び」
	2月	6	(知及技) 季節などに関連する音楽を聴き、歌詞に合わせながら声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) ・旋律やリズムを聴きながら教師の動作を模倣したり、児童同士で関わって遊んだりすることができる。(1段階Aア) ・3拍子のリズムを感じながらパネルシアターを動かして遊んだり、お話をじっと聴いたりして、自分なりの楽しさをみつけることができる。(1段階Aア) (学・人) 音や音楽に気付いて、音楽活動に楽しんで取り組む。(1段階)	(知・技) 音楽を聴いて、歌詞に合わせてながら声を出したり、歌ったり、身体表現ができている。(思・判・表) ・音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。 ・旋律やリズムを聴きながら児童同士で関わって遊んでいる。(主学) 音や音楽に気付いて、音楽活動に楽しんで取り組んでいる。	○げんきなこえでうたおう(音) ・こんこんくしゃんのうた ○わらべうたであそぼう(音)(鑑) ・おにのパンツ ○音や音楽をきいて、自分なりの楽しさを見つけよう(鑑) ・すてきなぼうしやさん	・音楽をかけながら、教科書の挿絵やペーパーサート、パネルシアター等を見て、歌詞のイメージをもてるようにする。様々な動物が出てくること、動物によってくしゃみやマスクの形や大きさ、長さが変わることに気付けるようにする。 ・教師が示範し、児童が歌を聴いて身体表現できるようにする。 ・パネルシアターを用いて、話の内容が分かるようにする。	国語「絵本を読もう③」 特活「心の鬼を退治しよう」

3月	6	(知及技) わらべ歌などの音楽を聴き、友達と関わり合いながら声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) ・音楽が流れている中で動物になったつもりで自分なりに表現することができる。(1段階Aア) ・旋律、リズム、強弱など明るく軽快な曲を聴きながら音に興味をもち、教師の動作を模倣したり、実物や模倣の楽器を使って表現したりすることができる。(1段階Aア) (学・人) 音や音楽に気付いて、音楽活動に楽しんで取り組んでいる。(1段階)	(知・技) ①わらべ歌などの音楽を聴き、友達と関わり合いながら声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりすることができる。 ②教師の動作を模倣したり、実物や模倣の楽器の音を出したりすることができる。 (思・判・表) ・音楽が流れている中で動物になったつもりで体を動かしている。 ・音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。 (主学) 音や音楽に気付いて、音楽活動に楽しんで取り組んでいる。	○すきなどうぶつになってみよう(音) ・ぞうさん ○わらべうたであそぼう(音)(鑑) ・なべなべそこぬけ ○音や音楽をきいて、自分なりの楽しさを見つけよう(鑑) ・がぼっと	・音楽が流れる中で、ぞうになったつもりで歩いたり、花に見立てて腕を振ったりするように促す。 ・教師や友達と二人組で遊ぶようにし、動作の基本形になれてきたら、児童同士で二人組で遊ぶ。 ・音楽を聴いて演奏の真似をする。実物や模倣の楽器を使って児童が表現したい演奏法で活動する。	体育「表現遊び」
		※「日のまる」、国歌「君が代」は、時期に応じて適切に指導する。 ※児童らの興味関心の高い曲及び流行の曲等がある場合には、適時取り扱う。 ※下段階の内容を取り扱う場合もある。				
留意点 引継等						
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・理解度・習得度 ・行動観察 ・実技テスト				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	0名		

			(知及び技) 知識及び技能	形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくる ことができるようにする。			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品な どから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな 情操を培う。			
日	月	時 数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学 期	4月	6	(知及技) ・様々な種類の紙を使った制 作活動を通して、色々な形や 色に気付く。(Ⅰ段階A共通事 項A(7)) ・様々な紙をくしゃくしゃに したり、破いたりすることが できる。(Ⅰ段階Aア(1)) (思判表力) 様々な紙の材質や色などを基 に自分のイメージをもち、 色々な形や模様に表すことが できる。(Ⅰ段階共通事項ア (1)、Aア(7)) (学・人) 様々な種類の紙を使った制作 活動に取り組み、つくりだす ことの楽しさに気付く。(Ⅰ段 階)	(知・技) ・様々な種類の紙を使った 制作活動を通して、色々な 形や色に気付いている。 ・様々な紙をくしゃくしゃ にしたり、破いたりしてい る。 (思・判・表) ・様々な種類の紙を使っ て、色々な形や模様に表し ている。 (主学) ・様々な種類の紙を使った 制作活動に取り組もうとし ている。	つくってみよう ～びりびりくしゃく しゃぺたぺた～ ・こいのぼり ・誕生日表 ・母の日	・紙をくしゃくしゃに して、感じの変化を味 わう。 ・紙を袋状にして中に 新聞紙などを詰めた り、紙の形をさらに変 えたりしながら表した いものを考える。 ・作品の感触を全身で 味わったり、友人と互 いに見合ったりして、 楽しさを感じ取る。	国「言葉で遊ぼう」 算「いろいろな形を みつけよう」 道「いろいろな挨拶」 「日頃お世話になっ ている人」
	5月	6	(知及技) ・土や砂を使った活動を通し て、形や色などに気付く。(Ⅰ 段階共通事項A(7)) ・土や砂を使って、丸めた り、穴を掘ったりして形や作 品を作ることができる。(Ⅰ段 階Aア(1)) (思判表力) 材料などから、イメージをも ち、形に表すことができる。 (Ⅰ段階共通事項A(1)、Aア (7)) (学・人) 土や砂を使った活動を通し て、つくりだすことの楽しさ に気付く。(Ⅰ段階)	(知・技) ・土や砂を使った活動を通 して、形や色などに気付い ている。 ・土や砂を丸めたり穴掘っ たりして形を工夫してい る。 (思・判・表) 材料などから、イメージを もち、形に表している。 (主学) 土や砂の感触を楽しもうと している。	つくってみよう ～土や砂を使って～ ・トンネル ・だんご ・ケーキ	・砂場や運動場で安全 に活動するためのきま りを確認する。 ・砂や土に触れた感覚 を味わいながら、手や 体全体、用具を使って 思い付いたことを試 す。 ・個人やグループで、 好きな形やつくりたい ものをつくる。 ・活動中の思い出や工 夫したことを発表し合 い、活動を振り返る。	国「絵本を読もう」 算「おなじものをさ がそう」
	6月	6	(知及技) ・絵の具を使った制作活動 を通して、色の違いや絵の具 の感触に気付く。(Ⅰ段階共通 事項A(7)) ・絵の具を指や手のひらにつ けて、描いたり、塗ったりす ることができる。(Ⅰ段階Aア (1)) (思判表力) 材料などを基に自分のイメー ジをもち、模様に表すことが できる。(Ⅰ段階共通事項ア (1)、Aア(7)) (学・人) 絵の具を使った制作活動に取 り組み、つくりだすことの楽 しさに気付く。(Ⅰ段階)	(知及技) ・絵の具を使った制作活動 を通して、色の違いや絵の 具の感触に気付いている。 ・絵の具を指や手のひらに つけて、描いたり、塗った りしている。 (思判表力) 材料などを基に自分のイメ ージをもち、模様に表し ている。 (主学) 絵の具を使った制作活動に 取り組もうとしている。	かいてみよう ～てでさわってかくの きもちいい～ ・父の日 ・学級目標	・自由にかく (好きなもの、かきたい ものをかく) ・テーマを基にかく (身近な人、動植物、自 然、見たことや体験し たことをかく) ・手や足、用具を使っ て絵の具で模様や形を あらわす ・画用紙や新聞紙を 破ったり、写真やイラ ストなどを切り貼りし て、表したいことを表 現したり、偶然にでき た形から表現したりす る。	国「言葉で遊ぼう」 算「おなじものをさ がそう」 道「いろいろな挨拶」 「日頃お世話になっ ている人」

	7月	6	(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付く。(I段階共通事項ア(7)) (思判表力) 身の回りにあるものから、表したいことを思いついたり、作品を見たりすることができる。(I段階共通事項ア(1)、Aア(7)) (学・人) 形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。(I段階)	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。 (思・判・表) 身の回りにあるものから、表したいことを思いついたり、教師の支援を受けながら、作品を見たりする。 (主学) 形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組もうとしている。	見てみよう(鑑賞) ・みんなの作品	・教師に作品を見せたり、友達と見せ合ったりする。 ・楽しかったことや工夫したことを発表する。 ・作品を展示し、鑑賞する。 ・他学級や他学年の作品を鑑賞する。	国「話してみよう」道「友達と仲よく」
	9月	7	(知及技) ・絵の具や花・木の実などの自然物を使った制作活動を通して、形や色などについて気付く。(I段階共通事項ア(7)) ・絵の具や花・木の実などの自然物を使って、いろいろな色の水をつくることのできる。(I段階Aア(1)) (思判表力) 自然物などを基に自分のイメージをもち、色水に表すことができる。(I段階共通事項ア(1)、Aア(7)) (学・人) 作った色水を筆や霧吹き等を使って、制作活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。(I段階)	(知・技) ・絵の具や花・木の実などの自然物を使った制作活動を通して、形や色などについて気付いている。 ・絵の具や花・木の実などの自然物を使って、いろいろな色の水をつくられている。 (思・判・表) 花や木の実等で作った色水で描く工夫をしている。 (主学) 水鉄砲やじょうろ等で描く活動を楽しもうとしている。	つくってみよう・かいてみよう ～色水～ ・筆や霧吹きで模様を描く	・色水づくりの方法を知り、活動への関心をもつ。 ・絵の具を使ったり、色水同士を混ぜ合わせたりして、いろいろな色水の水をつくる。 ・つくった色水から、思い付いた活動に取り組む。 ・友人とお互いの活動を見て回る。 ・片付けをする。	国「絵本を読もう」算「数えてみよう」道「自然の中で」「きまりを守って」
2学期	10月	7	(知及技) ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付く。(I段階共通事項ア(7)) ・クレヨンや絵の具などの扱いが分かり、自分なりの表現方法で描くことができる。(I段階Aア(1)) (思判表力) 材料などから、イメージをもち、絵に表すことができる。(I段階共通事項ア(1)、Aア(7)) (学・人) 形や色などに関わりながら、楽しんで活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。(I段階)	(知・技) ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。 ・クレヨンや絵の具などの扱いが分かり、教師と一緒に自分なりの表現方法で描いている。 (思・判・表) 材料などから、イメージをもち、絵に表している。 (主学) 形や色などに関わりながら、楽しんで活動に取り組もうとしている。	かいてみよう ～楽しい気持ちを描いてみよう～ ・感想画 ・ハロウィン製作	・絵本の読み聞かせを見たり、聞いたりして、好きなどころを思い浮かべたり話したりする。 ・自分が描きたい場面を決めて、挿絵等を参考に絵の具やクレヨンを使って絵を描く。 ・お互いの作品を観て、その様子や表し方について友人と伝え合う。	国語「絵本を読もう」
	11月	7	(知及技) ・身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付く。(I段階共通事項ア(7)) ・身の回りの自然物などに触れ、お面や動物などの作品を作ることができる。(I段階共通Aア(1)) (思判表力) 材料などから、イメージをもち、形に表すことができる。(I段階共通事項ア(1)、Aア(7)) (学・人) つくりだすことの楽しさに気付く、制作活動に取り組む。(I段階)	(知・技) ・身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付いている。 ・身の回りの自然物などに触れ、お面や動物などの作品を作っている。 (思・判・表) 材料などから、イメージをもち、形に表している。 (主学) 材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、自然物などを使った制作活動に楽しく取り組もうとしている。	つくってみよう ～葉っぱを組み合わせて～ ・お面 ・動物 など	・学校の校庭や近くの公園などの自然を利用して、その場所にある自然の材料(石、葉、砂、草木など)の形や色、質感などのおもしろさや美しさに関心をもって集め、それらの材料の特徴から発想して活動する。 ・並べる、組み合わせる、積む、身にまとうなどしながら、自然の材料との関わりを深めて楽しむ。	国「話してみよう」算「おなじ、ちがうをさがそう」道「いろいろな挨拶」「日頃お世話になっている人」

	12月	7	〔知及技〕 ・身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付く。(1段階共通事項A(ア)) ・身の回りの自然物などに触れ、石や葉をこすり、形を浮き出して版画を作ることができる。(1段階共通Aア(イ)) (思判表力) 材料などから、イメージをもち、形に表すことができる。 (1段階共通事項A(イ)、Aア(ア)) (学・人) つくりだすことの楽しさに気付く、制作活動に取り組む。 (1段階)	〔知・技〕 ・身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付いている。 ・身の回りの自然物などに触れながら、石や葉をこすり、形を浮き出して版画を作っている。 (思・判・表) 材料などから、イメージをもち、形に表している。 (主学) 材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、自然物などを使った制作活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	かいてみよう ～葉っぱや石などの自然物をごしごしこすって～ ・こすり出し ・クリスマスの製作	・自分たちの身の回りにあるでこぼこに興味をもつ。 ・こすり出してでこぼこを写し取ることができる。 ・身の回りの様々なものや場所からでこぼこを探し出し、色鉛筆やクレヨン・パスなどでこすり出す。 ・自分がこすり出した形を見て感じたことを友人と伝え合い、身の回りには様々なでこぼこがあることを確認する。	国「絵本を読もう」算「いろいろな形をみつけよう」道「自然の中で」
	1月	6	〔知及技〕 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付く。(1段階共通事項A(ア)) ・身の回りの自然物などに触れ、丸めたり、ねじったり、並べたり、積み重ねたり、組み合わせたり、工夫してつくることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 身の回りの材料などを基に自分のイメージをもち、形に表すことができる。(1段階共通事項A(イ)、Aア(ア)) (学・人) つくりだすことの楽しさに気付く、制作活動に取り組む。 (1段階)	〔知・技〕 ・自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。 ・身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒に丸めたり、ねじったり、並べたり、積み重ねたり、組み合わせたり、工夫してつくっている。 (思・判・表) 身の回りの材料などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に形に表している。 (主学) 材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、自然物などを使った制作活動に楽しく取り組もうとしている。	つくってあそぼう ～身の回りにある材料や用具を使って～	・自由につくる (好きなものや表したい形をつくる) ・テーマを基につくる (お店屋さん、おもちゃ作りなど) ・作ったもので遊ぶ (お店屋さんごっこ、おもちゃで遊ぶ、ゲーム大会など) ※身の回りにある材料粘土や草木、新聞紙や折り紙、段ボールやいろいろな大きさの箱など ※身の回りにある材料のり、はさみ、ステープラー、接着剤など	国「話してみよう」算「話してみよう」算「いろいろな形をみつけよう」
3学期	2月	6	〔知及技〕 ・粘土に働きかけることを通して、形や色などについて気付く。(1段階A共通事項A(ア)) ・粘土を丸めたり、叩いたり、伸ばしたりすることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 材料から自分のイメージをもち、色々な形や模様を表すことができる。(1段階共通事項A(イ)、Aア(ア)) (学・人) 粘土に働きかけることを通して、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階)	〔知・技〕 粘土に働きかけることを通して、形や色などについて気付いている。 粘土を丸めたり、叩いたり、伸ばしたりしている。 (思・判・表) 材料から自分のイメージをもち、色々な形や模様に表している。 (主学) 粘土の感触を楽しもうとしている。	つくってみよう ～粘土であそぼう～ ・のばす ・ちぎる ・型押し ・丸める など	・自由につくる (好きなもの、つくりたいものをつくる) ・粘土ケーキづくり (いろいろな色の紙粘土を使って自分だけのケーキをつくる) ・テーマを決めてつくる (お団子づくり、へびづくりなど)	国「話してみよう」算「話してみよう」算「いろいろな形をみつけよう」
	3月	6	〔知及技〕 ・プレゼント作りを通して、色々な形や色に気付く。(1段階共通事項A(ア)) ・絵を描いたり、シールを貼ったりしてプレゼントを作ることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 様々な素材などを基に自分のイメージをもち、プレゼント作りに表すことができる。(1段階共通事項A(イ)、Aア(ア)) (学・人) プレゼント作りに取り組む、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階)	〔知・技〕 ・プレゼント作りを通して、色々な形や色に気付いている。 ・絵を描いたり、シールを貼ったりしてプレゼントを作ることができる。 (思・判・表) 様々な素材などを基に自分のイメージをもち、プレゼント作りに表している。 (主学) プレゼント作りに取り組もうとしている。	つくってみよう ～つくってプレゼントしよう～ ・フォトフレーム ・修了記念作品バック	・誰に、どうしてプレゼントをつくるのかを知り、身近な材料や用具を使ってプレゼントを制作する。(卒業生プレゼント、修了記念作品バック)	国「話してみよう」算「おなじ、ちがうをさがそう」道「いろいろな挨拶」「日頃お世話になっている人」
留意点 引き継ぎ等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・課題の処理意欲 ・習得度 ・行動観察 ・ポートフォリオ				

単位数／配当時数	児童生徒について	担当者名	教科書／副教材
70	0名		

年間目標		(知及び技) 知識及び技能	教師の支援を受けながら、楽しく基本的な運動ができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたこと表現できるようにするとともに、健康な生活に向け、感じたことを他者に伝える力を養う。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	5	(知及び技) 楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。 (2段階Aア) (思判表力) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (2段階Aイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとする。(2段階Aウ)	(知・技) 楽しく基本的な体づくり運動をしている。 (思・判・表) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、基本的な体づくり運動をしようとしている。	体づくり運動① ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・リトミックをしよう	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・リトミック リズムやカウントに合わせて体を動かす。 ・感想発表	国語：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 算数：「数えてみよう」 音楽：「からだをうごかそう」「どうぶつになってあそぼう」
	5月	6	(知及び技) 楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。 (2段階Aア) (思判表力) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (2段階Aイ) (学・人) うがい・手洗いに取り組もうとする。(2段階Gア)	(知・技) 楽しく基本的な体づくり運動をすることができる。 (2段階Aア) (思・判・表) 基本的な体づくり運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (2段階Aイ) (主学) うがい・手洗いに取り組もうとしている。	体づくり運動② ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・動物になろう 保健 ・うがい、手洗い (年間を通して)	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・動物リトミック リズムやカウントに合わせて動物の真似っこをする。 ・感想発表 ・うがい、手洗い	国語：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 算数：「数えてみよう」 音楽：「からだをうごかそう」「どうぶつになってあそぼう」
	6月	6	(知及び技) 楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (2段階Cア) (思判表力) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (2段階Cイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとする。(2段階Cウ)	(知・技) 楽しく走・跳の基本的な運動をしている。 (思・判・表) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとしている。	走・跳の運動① ・かけっこをしよう	・集合 ・準備体操 ・かけっこ スタート、ゴールを確認する。 教師と一緒に走る。 1人で走る。 友達と一緒に走る。 ・感想発表	国語：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」「どんな意味かな」 算数：「数えてみよう」 音楽：「からだをうごかそう」「どうぶつになってあそぼう」
	7月	6	(知及び技) 楽しく走・跳の基本的な運動をすることができる。 (2段階Cア) (思判表力) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。 (2段階Cイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとする。(2段階Cウ)	(知・技) 楽しく走・跳の基本的な運動をしている。 (思・判・表) 走・跳の基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、走・跳の基本的な運動をしようとしている。	走・跳の運動② ・ジャンプをしよう	・集合 ・準備体操 ・跳んでみよう i ハードルジャンプ 片足、両足 ii 的を触る 150cm程度の的をジャンプして触る。 ・感想発表	国語：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」「どんな意味かな」 算数：「数えてみよう」

2 学 期	9月	6	(知及技) 楽しく水の中で基本的な運動をすることができる。 (2段階Dア) (思判表力) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Dイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとする。(2段階Dウ)	(知・技) 楽しく水の中で基本的な運動している。 (思・判・表) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとしている。	水の中での運動① ・水と友達になろう	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・顔付け 合図に合わせて水に顔をつける。 ・潜る ・自由タイム ・感想発表	国語：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 算数：「数えてみよう」 音楽：「からだをうごかそう」
	10月	6	(知及技) 楽しく水の中で基本的な運動をすることができる。 (2段階Dア) (思判表力) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Dイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとする。(2段階Dウ)	(知・技) 楽しく水の中で基本的な運動している。 (思・判・表) 水の中での基本的な運動に慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、水の中での基本的な運動をしようとしている。	水の中での運動② ・水に慣れよう	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・輪くぐり 潜って輪をくぐる。 ・潜る ・自由タイム ・感想発表	国語：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 算数：「数えてみよう」 音楽：「からだをうごかそう」
	11月	6	(知及技) 楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。(2段階Eア) (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Eイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。(2段階Eウ)	(知・技) 楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとしている。	ボールを使った運動やゲーム① ・ボールを転がしてみよう、投げてみよう	・集合 ・準備体操 ・ボール転がし ボールを転がして的に当てる。 ・ボール投げ ボールを投げて的に当てる。 ・感想発表	国語：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」「どんな意味かな」 算数：「数えてみよう」
	12月	6	(知及技) 楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをすることができる。(2段階Eア) (思判表力) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現することができる。(2段階Eイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとする。(2段階Eウ)	(知・技) 楽しくボールを使った基本的な運動やゲームをしている。 (思・判・表) ボールを使った基本的な運動やゲームに慣れ、その楽しさや感じたことを表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達とともに安全に楽しく、ボールを使った基本的な運動やゲームをしようとしている。	ボールを使った運動やゲーム② ・ボールを蹴ってみよう	・集合 ・準備体操 ・ボール蹴り ボールを蹴って的に当てる。 ・ボールを蹴って、ゴールに入れる。 ・感想発表	国語：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」「どんな意味かな」 音楽：「からだをうごかそう」

3 学 期	1月	6	(知及技) 楽しく器械・器具を使っ ての基本的な運動をす ることができる。(2段階Bア) (思判表力) 器械・器具を使っ ての基本的な運動に慣れ、その楽し さや感じたことを表現す ることができる。(2段階Bイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達 とともに安全に楽しく、器 械・器具を使っ ての基本的な運動をしようとする。 (2段階Bウ)	(知・技) 楽しく器械・器具を使っ ての基本的な運動をしてい る。 (思・判・表) 器械・器具を使っ ての基本的な運動に慣れ、その楽し さや感じたことを表現して いる。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達 とともに安全に楽しく、器 械・器具を使っ ての基本的な運動をしようとしてい る。	器械・器具を使っ ての運動① ・サーキット運動をし よう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 ⅰ 跳び箱をまたぐ ⅱ マット上を転がる ⅲ マット上ジャンプ ・感想発表	国語：「呼びかけて みよう」「言葉で遊 ぼう」「どんな意味 かな」 音楽：「からだをう ごかそう」
	2月	6	(知及技) 楽しく器械・器具を使っ ての基本的な運動をす ることができる。(2段階Bア) (思判表力) 器械・器具を使っ ての基本的な運動に慣れ、その楽し さや感じたことを表現す ることができる。(2段階Bイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達 とともに安全に楽しく、器 械・器具を使っ ての基本的な運動をしようとする。 (2段階Bウ)	(知・技) 楽しく器械・器具を使っ ての基本的な運動をしてい る。 (思・判・表) 器械・器具を使っ ての基本的な運動に慣れ、その楽し さや感じたことを表現して いる。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達 とともに安全に楽しく、器 械・器具を使っ ての基本的な運動をしようとしてい る。	器械・器具を使っ た運動② ・サーキット運動をし よう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 ⅰ 跳び箱上からジャンプ ⅱ マット上を転がる ⅲ マット上で前転 ・感想発表	国語：「呼びかけて みよう」「言葉で遊 ぼう」「どんな意味 かな」
	3月	5	(知及技) 音楽に合わせて楽しく表現 運動をすることができる。 (2段階Fア) (思判表力) 基本的な表現運動に慣れ、 その楽しさや感じたことを 表現することができる。 (2段階Fイ) (学・人) 簡単なきまりを守り、友達 とともに安全に楽しく、基 本的な表現運動をしよう とする。(2段階Fウ)	(知・技) 音楽に合わせて楽しく表現 運動をしている。 (思・判・表) 基本的な表現運動に慣れ、 その楽しさや感じたことを 表現している。 (主学) 簡単なきまりを守り、友達 とともに安全に楽しく、基 本的な表現運動をしよう としている。	表現運動① ・ダンスをし よう	・集合 ・準備体操 ・ダンス ⅰ 設定ダンス 動物曲、流行曲 ⅱ 自由ダンス ・感想発表	国語：「呼びかけて みよう」「言葉で遊 ぼう」 算数：「数えてみよ う」 音楽：「からだをう ごかそう」「どうぶ つになってあそば う」
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・記録測定 ・実技テスト ・行動観察					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	0名		わたしたちの道徳

年間目標		道徳的諸価値についての理解を基に、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。				
日	月	時数	目標	主題名	活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	3	①教師や友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする気持ちをもつ。 ②身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする気持ちをもつ。	【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ①学校は楽しいね(1) 【D 自然愛護】 ②自然の中で(1)	①学級や学年、学部全体での学習を通して、教師や友達との関わりを楽しむ経験を積み、学校生活を楽しむ。 ②校内に咲いている草花を観賞し、自然の美しさを感じる。花や野菜を大切に育てる。	生活 エ 遊び オ 人との関わり ケ きまり 国語 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう」
	5月	3	①気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする気持ちをもつ。	【B 礼儀】 ①いろいろな挨拶(1)	①教師や友達に対して、朝や帰りの挨拶等、場に応じた挨拶をする。名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。何かをしてもらったら、お礼を伝える。	生活 オ 人との関わり カ 役割 国語 A 聞くこと・話すこと 「言葉で遊ぼう」
	6月	4	①物を大切にし、身の回りを整え、気持ちよく生活をしようとする気持ちをもつ。 ②自分で考えて、日頃お世話になっている人々に感謝しようとする気持ちをもつ。	【A 節度、節制】 ①身の回りを整える 【B 感謝】 ②家族など日頃お世話になっている人	①自分の持ち物がわかり、所定の場所に片付ける。自分で使った物はきちんと後片付けをする。 ②自分で考えて、スクールバスの運転手や介助の先生、給食の調理員等の仕事を知り、感謝の気持ちを持つ。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 ケ きまり 国語 A 聞くこと・話すこと 「言葉で遊ぼう」
	7月	2	①自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行おうとする気持ちをもつ。 ②友達の気持ちを考え、だれとでも仲よく助け合っていこうとする気持ちをもつ。	【A 希望と勇気、努力と強い意志】 ①自分の仕事 【B 友情、信頼】 ②友達と仲よく	①自分のことはできるだけ自分でやろうとする。最後までやりぬき、成功の満足感を味わう。 ②友達に優しくしてもらった時に、嬉しかった気持ちを大切ににする。教師や友達と一緒に手を繋いで歩く。誰とでも仲良く遊ぶ。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 国語 A 聞くこと・話すこと 「呼びかけてみよう」
	9月	3	①教師や友達、他学年の友達に親しみ、学校生活を楽しもうとする気持ちをもつ。 ②身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする気持ちをもつ。	【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ①学校は楽しいね(2) 【D 自然愛護】 ②自然の中で(2)	①学級や学年、学部全体での学習を通して、教師や友達との関わりを楽しむ経験を積み、学校生活を楽しむ。 ②校内に咲いている草花を観賞し、自然の美しさを感じる。花や野菜を大切に育てる。	生活 エ 遊び オ 人との関わり ケ きまり 国語 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう」

2 学 期	10月	4	①みんなが使う物を大切にしようとする気持ちをもつ。	【C 規則の尊重】 ①きまりを守って	①よいことをして教師や友達に褒められ、喜びを味わう。よいと思うことを進んで行う。よいこと、悪いことが何か分かる。	生活 エ 遊び オ 人との関わり ケ きまり 国語 A 聞くこと・話すこと 「どんな意味かな」 体育 ボールを使った運動やゲーム 器械・器具を使っの運動
	11月	4	①生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする気持ちをもつ。	【D 生命の尊さ】 ①生命がもつ力	①けがをした時や、気分が悪くなった時は、教師に伝える。危険な場所で遊ばないように気をつける。	生活 サ 生命・自然 国語 C 読むこと 「絵本をよもう」
	12月	3	①気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする気持ちをもつ。	【B 礼儀】 ①いろいろな挨拶(2)	①教師や友達に対して、朝や帰りの挨拶等、場に応じた挨拶をする。名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。何かをしてもらったら、お礼を伝える。	生活 オ 人との関わり カ 役割 国語 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう」 B 書くこと 「かいてみよう」
3 学 期	1月	3	①うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸び生活しようとする気持ちをもつ。	【A 正直、誠実】 ①いつも素直に	①うそをついたり、ごまかししたりすると、自分がいやな気持ちになることが分かり、素直な気持ちでいると、みんなが笑顔になれることが分かる。	生活 エ 遊び オ 人との関わり ケ きまり 国語 C 読むこと 「絵本をよもう」
	2月	4	①よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする気持ちをもつ。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ①よいと思うことをすすんで	①モラル場面において、よいことと悪いことの区別をし、状況に合わせた行動をしようとするについて、自分との関わりで考えること。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 ケ きまり 国語 C 読むこと 「絵本をよもう」
	3月	2	①身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする気持ちをもつ。	【B 親切、思いやり】 ①温かい心で親切に	①友達が困っていると、それに気付いて助けてあげる。進んで教師の手伝いをする。	生活 エ 遊び オ 人との関わり カ 役割 国語 C 読むこと 「絵本をよもう」
留意点 引継等						
評価方法 (行動記録)		・授業に対する取組姿勢 ・行動観察 ・その他教科に応じた評価方法				

令和8年 小学部 2年 (Ⅱ課程A) 特別活動 年間指導計画(シラバス)

単位数／配当時数	対象児童	担当者名	教科書／副教材
35	0名		

年間目標		(知及び技) 知識及び技能		話し合い活動の過程において、自分の気持ちを発表したり、他者の話をきいたりすることができるようになる。			
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		基本的な生活習慣、約束やきまりを守ることの大切さに気づき、自ら考えて行動する力を養う。			
		(学・人) 学びに向かう力、人間性		様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築くことができるようにする。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
4月	4	4	(知及び技) 学級、学年の一員であることを知ることができる。 (思判表力) 学級、学年を楽しくするために、仲良く助け合うことができる。 (学・人) 集団での活動に参加しようとする。	(知・技) 学級、学年の一員であることを知ろうとすることができる。 (思・判・表) 学級、学年を楽しくするために、仲良く助け合おうと工夫している。 (主学) 集団での活動に参加しようとしている。	○どうぞよろしくね会 ・学年、学級開き ・自己紹介 ・1学期始業式 ・入学式 ・新転入生を迎える会	○新しい学級の友達や先生を知る。 ・自分の名前や好きなことを発表する。	○国語 A聞く・話す 「呼びかけてみよう」 B書く 「かいてみよう」 ○算数 A数量の基礎 「さわってみよう、探してみよう」 ○図画工作 表現 「作ってみよう」 「描いてみよう」
			(知及び技) 学期の行事を知ることができる。 (思判表力) 自分の頑張りたいことを考え、選ぶことができる。 (学・人) なりたい自分を目指したり、振り返ったりして生活や学習に生かそうとする。	(知・技) 1学期の行事を知ろうとすることができる。 (思・判・表) 自分の頑張りたいことを考え、選んでいる。 (主学) なりたい自分を目指したり、振り返ったりして生活や学習に生かそうとしている。	○1学期頑張ろう会 ・行事の紹介 ・目標設定	○視覚教材を見て、1学期の行事や活動について知る。 ・頑張りたいことや楽しみなことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用)	
			(知及び技) 火災が起きたときの対応について知ることができる。 (思判表力) 安全に過ごすために行動することができる。 (学・人) 健康や安全に関心を持って取り組むことができる。	(知・技) 火災が起きたときの対応について知ろうとしている。 (思・判・表) 安全に過ごすために行動している。 (主学) 健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○火災避難訓練 ・事前事後学習	○動画や視覚教材を見て、自分の身を守る方法について知る。 ・実際にハンカチを口に当てたり、周囲の指示に従って避難する練習をしたりして、火災が起きた時の対応の仕方を知る。	
			(知及び技) 図書室利用の仕方が分かる。 (思判表力) 公共の場所での行動の仕方について考えることができる。 (学・人) ルールやマナーを考えて利用しようとする。	(知・技) 正しい図書室利用の仕方ができている。 (思・判・表) 公共の場所での行動の仕方について考えている。 (主学) ルールやマナーを考えて利用しようとしている。	○図書館ってどんな場所？	○図書室オリエンテーションで図書室の利用の仕方を知る。	
			(知及び技) 学級目標を考えることができる。 (思判表力) 学級をよくするために活動することができる。 (学・人) 集団での活動に参加しようとする。	(知・技) 学級目標を考えることができる。 (思・判・表) 学級をよくするために考えて活動している。 (主学) 集団での活動に参加しようとしている。	○学級目標を考えよう	○どんな学級にしたいのかを考えて、発表する。	○国語 A聞く・話す 「言葉で遊ぼう」 「話してみよう」 B書く 「かいてみよう」 ○算数 A数量の基礎 「1つずつ合わせてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」
			(知及び技) 心身の健康の保持に必要な行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 健康や安全に過ごすために行動することができる。 (学・人) 健康や安全に関心を持って取り組もうとする。	(知・技) 心身の健康の保持に必要な行動の仕方を身に付けようとしている。 (思・判・表) 健康や安全に過ごすために行動しようとしている。 (主学) 健康や安全に関心を持って取り組もうとしている。	○健康診断ってなに？ (身長体重・聴力・歯科・耳鼻・視力・心電図・内科検診等) <u>☆ここからわーく</u>	○落ち着いて健康診断を受けるための練習をする。	

Ⅰ 学 期	5月	4	(知及技) 道路の歩き方、横断歩道の渡り方について、考えることができる。 (思判表力) 安全に過ごすために行動することができる。 (学・人) 健康や安全に関心をもって行事に取り組もうとする。	(知・技) 道路の歩き方、横断歩道の渡り方について、考えることができる。 (思・判・表) 安全に過ごすために行動を工夫している。 (主学) 健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○交通安全指導 ・事前事後学習	○動画や視覚教材を見て、交通安全について知る。 ・実際に横断歩道を教師と一緒に渡る。
			(知及技) 自分や友達の誕生日を知ることができる。 (思判表力) お祝いしたり、されたりする喜びを知り、自分や友達の誕生日をみんなて祝うことができる。 (学・人) 様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築こうとする。	(知・技) 自分の誕生日を知ることができる。 (思・判・表) お祝いしたり、されたりする喜びを知り、誕生日をみんなて祝おうとしている。 (主学) 様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築こうとしている。	○お祝いしよう（誕生会） ※年間を通して実施	○誕生会の司会、出し物等を教師と一緒に行う。 ・自己紹介を通して、好きなことや得意なことを発表する。
6月	5	(学・人) 自分の担当が分かり、進んで係活動に取り組もうとする。	(主学) 自分の担当が分かり、進んで係活動に取り組むことができる。	○係の仕事をしよう	○自分の係を知る。 ・係の仕事内容を知る。	○国語 A聞く・話す 「言葉で遊ぼう」 「話してみよう」 B書く 「かいてみよう」 ○算数 A数量の基礎 「1つずつ合わせてみよう」 「数えてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」 ○図画工作 A表現 「つくってみよう」 「描いてみよう」
		(知及技) 歯の働きや正しい歯磨きの仕方が分かる。	(知・技) 歯の働きや正しい歯磨きの仕方を理解することができる。	○歯を大切にしよう (歯と口の健康月間)	○歯の働きや歯を大切にするためにはどうしたら良いかを考える。	
		(知及技) 他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知る。 (思判表力) 活動の流れに興味を持ち、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりする。	(知・技) 他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知ることができる。 (思・判・表) 活動の流れに興味を持ち、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりしようとする。	○児童集会に参加しよう (3・4年発表)	○他学年の発表を見たり、児童会のダンスを踊ったりする。	
		(知及技) 不審者に会ったときの対応について知ることができる。 (思判表力) 安全に過ごすために行動することができる。 (学・人) 健康や安全に関心を持って取り組むことができる。	(知・技) 不審者に会ったときの対応について知っている。 (思・判・表) 安全に過ごすために行動している。 (主学) 健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○不審者対応避難訓練 ・事後学習 ・自分の身を守る	○自分の身を守る方法について知る。 ・実際に大きな声を出したり、周囲の人に助けを求める練習をしたりして、不審者へに会った時の対応の仕方を知る。	
		(知及技) 沖縄戦について知り、平和や生命の大切さに気づくことができる。	(知・技) 沖縄戦について知り、平和や生命の大切さに気づいている。	○平和学習（慰霊の日）	○沖縄戦の様子について知る。 ・平和について友達と話し合い、自分なりのイメージを持ち、絵や文字に描く。	
7月	3	(学・人) 健康や安全に関心を持って取り組むことができる。	(主学) 健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○プライベートゾーン ・からだを知ろう ☆ここからわーく (生命の安全教育)	○ぼくのからだ、わたしのからだ ・体の名称を知る	○国語 A聞く・話す 「言葉で遊ぼう」 「話してみよう」 B書く 「かいてみよう」 ○算数 A数量の基礎 「1つずつ合わせてみよう」 「数えてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」
		(知及技) 夏休みの過ごし方を考え、確認することができる。 (学・人) 1学期に頑張ったことや楽しかったことを振り返ろうとする。	(知・技) 夏休みの過ごし方を考え、確認することができる。 (主学) 1学期に頑張ったことや楽しかったことを振り返ろうとしている。	○1学期頑張った会 ・1学期の振り返り ・夏休みの過ごし方について	○写真や動画を見ながら1学期の振り返りを行う。 ・頑張ったことや楽しかったことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用) ・視覚教材をみながら、夏休みの過ごし方を確認する。	
9月	3	(知及技) 2学期の行事を知ることができる。 (思判表力) 自分の頑張りたいことを考え、選ぶことができる。	(知・技) 2学期の行事を知ろうとすることができている。 (思・判・表) 自分の頑張りたいことを考え、選んでいる。	○2学期頑張ろう会 ・夏休みの思い出発表 ・行事の紹介 ・目標設定 (学年・学級)	○夏休みを振り返り、夏休みの出来事について皆の前で発表する。 ・視覚教材を見て、2学期の行事や活動について知る。 ・頑張りたいことや楽しみなことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用)	○国語 A聞く・話す 「はなしてみよう」 B書く 「言葉で遊ぼう」 ○算数 A数量の基礎 「数えてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」
		(学・人) 健康や安全に関心を持って取り組むことができる。	(主学) 健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○自分の体を知る 男女の身体の違い	○ぼくのからだ、わたしのからだ ・体の名称を知る	

2 学 期	10月	3	(知・技) 他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知る。 (思・判・表) 活動の流れに興味を持ち、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりする。 (学・人) 様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築こうとする。	(知・技) 他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知ることができている。 (思・判・表) 活動の流れに興味を持ち、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりしようとする。 (主・学) 様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築こうとしている。	○児童集会に参加しよう (1・2年)	○他学年の発表を見たり、児童会のダンスを踊ったりする。	○国語 A聞く・話す 「はなしてみよう」 B書く 「言葉で遊ぼう」 ○算数 A数量の基礎 「数えてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」
			(知・技) 食べたいおやつについて話し合い、選んだりして決める。 (思・判・表) 活動内容や準備などについて考え、実践する。 (学・人) 活動を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりしながら取り組む。	(知・技) 食べたいおやつについて話し合い、選んだりして決めている。 (思・判・表) 活動内容や準備などについて考え、実践している。 (主・学) 活動を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりしながら取り組もうとしている。	○お楽しみ調理をしよう ・何を作るか、何味がいいか等の自己選択 ・役割分担をして、実際に調理をする	○食べたいおやつについて話し合う。 ・役割分担して、なかよく調理をする。	
	11月	3	(知・技) 地震や津波が起きたときの対応について知ることができる。 (思・判・表) 安全に過ごすために行動することができる。 (学・人) 健康や安全に関心を持って取り組むことができる。	(知・技) 地震や津波が起きたときの対応について知ろうとしている。 (思・判・表) 安全に過ごすために行動している。 (主・学) 健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○地震津波避難訓練 ・事前学習 ・事後学習	○動画や視覚教材を見て、自分の身を守る方法について知る。 ・実際に身を隠したり、周囲の指示に従って避難する練習をしたりして、地震や津波が起きた時の対応の仕方を知る。	○国語 A聞く・話す 「はなしてみよう」 B書く 「どんな意味かな」 ○算数 A数量の基礎 「かぞえてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」
			(知・技) 他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知る。 (思・判・表) 活動の流れに興味を持ち、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりする。	(知・技) 他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知ることができている。 (思・判・表) 活動の流れに興味を持ち簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりしようとする。	○児童集会に参加しよう (5・6年)	○他学年の発表を見たり、児童会のダンスを踊ったりする。	
	12月	3	(知・技) 正しい手の洗い方やうがいの仕方が分かる。	(知・技) 正しい手の洗い方やうがいの仕方が分かっている。	○感染症対策をしよう ・手の洗い方 ・うがいの仕方 ・咳エチケット ☆ここからわーく (世界エイズデー)	○正しい手洗いの手順やうがいの仕方を身に付けるようにする。	○国語 A聞く・話す 「話してみよう」 B書く 「かいてみよう」 ○算数 A数量の基礎 「同じものを合わせよう」 ○音楽 A表現 「からだをうごかそう」
			(知・技) 学習発表会について知ることができる。 (思・判・表) 自分の役割が分かり、活動に取り組むことができる。 (学・人) 学習発表会で頑張ったことや楽しかったことを考え、振り返ろうとする。	(知・技) 学習発表会について知ることができる。 (思・判・表) 自分の役割が分かっている。 (主・学) 学習発表会で頑張ったことや楽しかったことを振り返ろうとしている。	○学習発表会 ・事前学習 ・事後学習	○写真や動画を見て、学習発表会の日程や内容について知る。 ・自分の役割を知る。 ・振り返りを行う。 ・選択肢の中から選んで発表する。	
			(知・技) 冬休みの過ごし方を確認することができる。 (学・人) 2学期に頑張ったことや楽しかったことを振り返ろうとする。	(知・技) 冬休みの過ごし方を確認しようとしている。 (主・学) 2学期に頑張ったことや楽しかったことを振り返ろうとしている。	○2学期頑張った会 ・2学期の振り返り ・冬休みの過ごし方 (学年・学級)	○写真や動画を見ながら2学期の振り返りを行う。 ・頑張ったことや楽しかったことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用) ・視覚教材をみながら、冬休みの過ごし方を確認する。	

3 学 期	1 月	2	(知・技) 3学期の行事を知ることができる。 (思判表力) 自分の頑張りたいことを選ぶことができる。	(知・技) 3学期の行事を知ろうとしている。 (思・判・表) 自分の頑張りたいことを選ぼうとしている。	○3学期頑張ろう会 ・行事の紹介 ・目標設定 (学年・学級)	○視覚教材を見て、3学期の行事や活動について知る。 ・頑張りたいことや楽しみなことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用)	○国語 A聞く・話す B書く 「絵本を読もう」 ○算数 A数量の基礎 「おなじものをさがそう」 ○音楽 A表現 「からだをうごかそう」
			(学・人) 自己の課題解決のためによりよい実践方法を考えようとする。	(主学) 自己の課題解決のためによりよい実践方法を考えようとしている。	○心の鬼を退治しよう	○自分や友達の良いところ、直してほしいところを話し合う。	
	2 月	3	(知・技) 他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知る。 (思判表力) 活動の流れに興味を持ち、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりする。	(知・技) 他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知ることができる。 (思・判・表) 活動の流れに興味を持ち簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりしようとする。	○児童会役員引継式・任命式	○他学年の発表を見たり、児童会のダンスを踊ったりする。	○国語 A聞く・話す B書く 「絵本を読もう」 ○算数 A数量の基礎 「いろいろな形をみつけよう」 ○音楽 A表現 「からだをうごかそう」 ○生活 ウ日課・予定 オ人との関わり カ役割 ○図画工作 A表現 「作ってみよう」
			(知・技) 食べたいおやつについて話し合い、選んだりして決める。 (思判表力) 活動内容や準備などについて考え、実践する。 (学・人) 活動を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりしながら取り組む。	(知・技) 食べたいおやつについて話し合い、選んだりして決めている。 (思・判・表) 活動内容や準備などについて考え、実践している。 (主学) 活動を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりしながら取り組もうとしている。	○お楽しみ調理をしよう ・何を作るか、何味がいいか等の自己選択 ・役割分担をして、実際に調理をする	○食べたいおやつについて話し合う。 ・役割分担して、なかよく調理をする。	
	3 月	2	(知・技) 春休みの過ごし方を確認することができる。 (思判表力) 新学年へ向けての目標を、考えることができる。 (学・人) 3学期に頑張ったことや楽しかったことを、振り返ろうとする。	(知・技) 春休みの過ごし方を確認しようと思えることができる。 (思・判・表) 新学年へ向けての目標を、考えている。 (主学) 3学期に頑張ったことや楽しかったことを、振り返ろうとしている。	○3学期頑張った会 ・3学期の振り返り ・新学年に向けて ・春休みの過ごし方について	○写真や動画を見ながら3学期の振り返りを行う。 ・頑張ったことや楽しかったことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用) ・新学年で頑張りたいことを考えて、皆の前で発表する。 ・視覚教材をみながら、春休みの過ごし方を確認する。	○国語 A聞く・話す B書く 「絵本を読もう」 ○算数 A数量の基礎 「大きさの違うものを選んでみよう」 ○音楽 A表現 「どうぶつになってあそぼう」
留意点 引継等							
評価方法			・行動観察・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢				

令和8年 小学部 2年 (Ⅱ課程B) 生活科 年間指導計画(シラバス)

単位数／配当時数			対象人数		担当者名		教科書／副教材	
350			20名				せいかつ☆	
年間目標			(知及び技) 知識及び技能	活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴 に関心をもつとともに、身の回りの生活において必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。				
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。				
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会及び自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容		教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	31	(知及び技) 簡単な身辺処理に関する初歩的な知識や技能を身に付ける。【ア-(イ)】 (思判表力) 簡単な身辺処理に気付き、教師と一緒に行動しようとする。【ア-(ア)】 (学・人) 自分のことに取り組んだり、生活を豊かにしようとしたりする。 (知及び技) 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。【シー(イ)】 (思判表力) 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。【シー(ア)】 (学・人) ものの仕組みの興味を持ち、学習に取り組もうとする。	(知・技) 必要な身辺処理や集団での基本的生活習慣に慣れる。 (思・判・表) 教師の支援を受けながら日常生活に役立てようとして取り組んでいる。 (主学) 自分のことに取り組んだり、生活を豊かにしようとしたりしている。 (知・技) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かっている。 (思・判・表) 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、教師の支援を受けながら考えてそれらを表現している。 (主学) ・教師の支援を受けながら学習に取り組もうとしている。	基本的生活習慣 ①食事 ②用便 ③清潔 ④身の回りの整理 ⑤身なり (年間を通して) ものの仕組みと働き ①物の重さ (年間を通して)	・絵を見ながら教師と一緒に登場人物の音声や動きの模倣をする。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。 ・自分と登場人物を置き換えたり、教師や友達と役割分担をしながら繰り返し「おい」と声を出して呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりしてやりとりを楽しむ。		国「図書室へ行ってみよう」 算「くらべてみよう」 「かき」をはかろう」 図「作ってみよう～動くオモチャ～」
	5月	32	(知及び技) 簡単な日課について、関心をもつことができる。【ウー(イ)】 (思判表力) 身の回りの簡単な日課に気付き、教師と一緒に日課に沿って行動しようとする。【ウー(ア)】 (学・人) 日課に沿って行動しようとする。 (知及び技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。【コー(イ)】 (思判表力) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする。【コー(ア)】 (学・人) 地域について関心を持ち、学習に取り組もうとする。	(知・技) ・日常生活の日課、予定が分かっている。 (思・判・表) ・教師の支援を受けながらおよその予定を見通しを持って行動している。 (主学) 教師と一緒に日課に沿って行動しようとしている。 (知・技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 (思・判・表) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師の支援を受けながらみんなに伝えている。 (主学) 公共施設を利用しようとしている。	日課 ①日課に沿って行動する (年間を通して) 社会の仕組みと公共施設 ①家族・親戚・近所の人 ②学校 (年間を通して)	1 日課に沿って行動し、学校生活に簡単な見通しをもつ。 1自分の父母、兄弟姉妹、祖父母が分かり、家族と気持ちを安定させて生活する。 2 隣近所の人に関心をもつ。 3 校内探検等を通して、自分の教室や音楽室、図書室等に関心をもつ。 4 教室や音楽室、図書室等の場所や名称を知る。 5 担任の先生や保健室の先生等、自分に身近な先生が分かり、気持ちを安定させて生活する。		国「説明文を読もう」 算「しらべよう」

I 学期	6月	32	(知及技) 集団の中での役割に関心をもちることができる。【カー (イ)】 (思判表力) 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようといふことができる。【カー (ア)】 (学・人) 様々な役割があることに気付き、学習に取り組もうとする。 (知及技) 身の回りの人との関わり方に関心をもちことができる。【オ- (イ)】 (思判表力) 教師や身の回りの人に気付き、簡単な挨拶などをする。【オ- (ア)】 (学・人) 教師や身の回りの人に気付き、関わろうとする。	(知・技) 集団の中での役割に関心をもちことができる。【カー (イ)】 (思判表力) 身の回りの集団に気付き、教師の支援を受けながら参加している。【カー (ア)】 (主学) さまざまな役割活動に取り組んでいる。 (知・技) 身近な人との簡単な対応の仕方を理解している。【オ- (イ)】 (思判表力) 教師や身の回りの人に気付き、簡単な挨拶などをする。【オ- (ア)】 (主学) 自分との関わりが分かり、考えて簡単な対応などをするとしている。	役割 ①集団の参加や集団内での役割 ②地域の行事への参加 (年間を通して) 人との関わり ①自分自身と家族 ②身近な人との関わり (年間を通して)	1 誕生会や校外学習、学習発表会等に参加する。 2 あいさつの号令かけ や黒板ふきなどの係活動をする。 3 地域の行事に参加する。 1 自分の名前がわかり、名前を呼ばれたときに身振りや表情、挙手や発声等で応答する。 2 教師や友達の名前がわかる。 3 友達と手をつなぐ。 4 教師と一緒に頭を下げたり、握手したりしてあいさつする。 5 表情、身振り、動作、声、絵カードなどで自分の要求を表現する。	
			(知及技) 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもちことができる。【コ- (イ)】 (思判表力) 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようといふことができる。【コ- (ア)】 (学・人) 地域について関心を持ち、学習に取り組もうとする。	(知・技) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かっている。【コ- (イ)】 (思判表力) 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かり、考えてそれらを表現している。【コ- (ア)】 (主学) 地域について関心を持って考えて調べたり、表現しようといふ取り組もうとしている。	校外学習に行こう (1) 社会の仕組みと公共施設 ①公共施設の利用 ②交通機関の利用 (年間を通して) ・事前学習 ・事後学習	1 教師と一緒に公園や図書館、駅等の身近な公共施設を利用する。 2 バス等を利用し、乗り降りするときには定期券を見せたり、現金で料金を支払ったりするなど様々な方法があることを知る。 3 通学のバスに乗ることに慣れる。	
	7月	32	(知及技) 身の回りの遊びや遊び方について関心をもち。【エ- (イ)】 (思判表力) 身の回りの遊びに気付き、教師や友達と同じ場所で遊ぼうとする。【エ- (ア)】 (学・人) 決まりについて気付くとともに、色々な遊びを通して生活を豊かにしようとしたりする。 (知及技) 金銭の扱い方などに関心をもちことができる。【ク- (イ)】 (思判表力) 身の回りの生活の中で教師と一緒に金銭を扱おうといふことができる。【ク- (ア)】 (学・人) 金銭に関心を持ち、学習に取り組もうとする。	(知・技) 友達と仲良く遊ぶことができる。【エ- (イ)】 (思判表力) 決まりを守って遊んでいる。【エ- (ア)】 (主学) 決まりについて関心を持ち、色々な遊びを通して生活を豊かにしようとしている。 (知・技) 金銭の扱い方などの知識や技能を理解している。【ク- (イ)】 (思判表力) 身近な生活の中で、金銭の価値や必要性に気づいている。【ク- (ア)】 (主学) 金銭の扱い方に関心をよせ、金銭を扱おうとしている。	遊び ①いろいろな遊び ②遊具の後片付け (年間を通して) 金銭の扱い ①金銭の扱い (年間を通して)	1 教師や友達と同じ場所で、好きなことをして遊ぶ。 2 教師のまねをして、手足を動かして遊ぶ。 3 テレビや絵本など、友達と一緒に楽しむ。 4 おもちゃなど身近にある物で遊ぶ。 5 ぶらんこ、すべり台、砂場等で遊ぶ。 6 教師と一緒に遊具等の後片付けをする。 1 お金が必要なものであることが分かり、粗末に扱わない。 2 いろいろな種類の硬貨や紙幣があることを知る。 3 教師と一緒に、お店の人に金を渡し、お金を財布に入れたりする。	国「お店の人に聞いてみよう」算「金銭」

2 学 期	9月	32	【知及技】 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 【シー（イ）】 （思判表力） 身の回りにあるものの仕組みや働きに気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとするができる。 【シー（ア）】 （学・人） ものの仕組みの興味を持ち、学習に取り組もうとする。	【知・技】 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かっている。 （思・判・表） 日常生活の中で、ものの仕組みや働きが分かり、それらを表現している。 （主学） 教師の支援を受けながら学習に取り組もうとしている。	ものの仕組みと働き ①風やゴムの力の働き （年間を通して）	1 風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつ。 2 かざぐるまや紙コップロケット等、風やゴムの力で動く簡単なおもちゃを作り、動く様子に関心をもつ。	国「図書室へ行ってみよう」 算「くらべてみよう」 「かさ」をはかるう 図「作ってみよう～動くおもちゃ～」
	10月	32	【知及技】 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 【コー（イ）】 （思判表力等） 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師と一緒にみんなに伝えようとすることができる。 【コー（ア）】 （学・人） 地域について関心を持ち、学習に取り組もうとする。	【知・技】 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。 （思・判・表） 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気付き、それを教師の支援を受けながらみんなに伝えている。 （主学） 教師と一緒に公共施設を利用しようとしている。	社会の仕組みと公共施設 ①いろいろな店 ②社会の様子 （年間を通して）	1 近隣や通学路にある店に関心をもつ。 2 学校や家の近所の商店や公園、駅等に出掛け関心をもつ。	
	11月	32	【知及技】 集団の中での役割に関心をもつことができる。 【カー（イ）】 （思判表力） 身の回りの集団に気付き、教師と一緒に参加しようとするができる。 【カー（ア）】 （学・人） 様々な役割があることに気付き、学習に取り組もうとする。	【知・技】 集団の中での役割に関心をもつことができる。 （思・判・表） 身の回りの集団に気付き、教師の支援を受けながら参加している。 （主学） さまざまな役割活動に取り組んでいる。	役割 ①地域の行事への参加 （年間を通して）	1 誕生会、校外学習、運動会等に参加する。 2 あいさつの号令かけ や黒板ふきなどの係活動をする。 3 地域の行事に参加する。	
	12月	32	【知及技】 金銭の扱い方などに関心をもつことができる。 【ク-（イ）】 （思判表力） 身の回りの生活の中で、教師と一緒に金銭を扱おうとすることができる。 【ク-（ア）】 （学・人） 金銭に関心を持ち、学習に取り組もうとする。	【知・技】 金銭の扱い方などの知識や技能を理解している。 （思・判・表） 身近な生活の中で、金銭の価値や必要性に気づいている。 （主学） 金銭の扱い方に関心をよせ、金銭を扱おうとしている。	金銭の扱い ①買い物 ②自動販売機の利用 （年間を通して）	1 品物を選んでレジまで持っていく、お店の人にお金を渡したり品物を袋に入れたりする。 2 自動販売機を利用する。	国「お店の人に聞いてみよう」 算「金銭」 「くらべてみよう」 図「描いてみよう」

3 学 期	1 月 26 日	（知及技） 身の回りにあるものの仕組みや働きについて関心をもつことができる。 【シー（イ）】 （思判表力） 身の回りにあるものの仕組みや働きに気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする事ができる。 【シー（ア）】 （学・人） ものの仕組みの興味を持ち、学習に取り組もうとする。	（知・技） 日常生活の中でもものの仕組みや働きが分かっている。 （思・判・表） 日常生活の中でもものの仕組みや働きが分かり、それらを表現している。 （主学） 教師の支援を受けながら、ものの仕組みや働きに関して関心をもって調べたり表現しようとしている。	ものの仕組みと働き ②風やゴムの力の働き （年間を通して）	1 風やゴムの力によって物が動く様子に関心をもつ。 2 かざぐるまや紙コップロケット等、風やゴムの力で動く簡単なおもちゃを作り、動く様子に関心をもつ。	国「図書室へ行ってみよう」算「くらべてみよう」 「かさ」をはかる」 図「作ってみよう～動くおもちゃ～」
		（知及技） 身の回りの社会の仕組みや公共施設の使い方などについて関心をもつことができる。【コー（イ）】 （思判表力） 身の回りにある社会の仕組みや公共施設に気づき、それを教師と一緒にみんなに伝えようとする事ができる。【コー（ア）】 （学・人） 地域について関心を持ち、学習に取り組もうとする。	（知・技） 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かっている。 （思・判・表） 日常生活に関わりのある地域の店や公共施設が分かり、考えてそれらを表現している。 （主学） 地域について関心を持って調べて調べたり、表現しようとする取り組みをしている。	社会の仕組みと公共施設 ①公共施設の利用 ②交通機関の利用 （年間を通して）	1 教師と一緒に公園や図書館、駅等の身近な公共施設を利用する。 2 バス等を利用し、乗り降りするときには定期券を見せたり、現金で料金を支払ったりするなど様々な方法があることを知る。 3 通学のバスに乗ることに慣れる。	
	3月31日	（知及技） 集団の中での役割に関心をもつことができる。 【カー（イ）】 （思判表力） 身の回りの集団に気づき、教師と一緒に参加しようとする事ができる。 【カー（ア）】 （学・人） 様々な役割があることに気づき、学習に取り組もうとする。	（知・技） 集団の中での役割に関心をもつことができている。 （思・判・表） 身の回りの集団に気づき、参加している。 （主学） さまざまな役割活動に取り組んでいる。	役割 ①共同での作業と役割分担 （年間を通して）	1 給食のときに食器を並べたり、牛乳を配ったりする等の係活動をする。	
留意点 引継等						
評価方法		・三観点の確認　・行動観察・授業に対する取り組み姿勢　・理解度・習得度				

令和8年 小学部 2年 (Ⅱ課程B) 国語科 年間指導計画(シラバス)

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
105	20名		こくご☆

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1学期	4月	9	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることができる。【アー(ア)】 (思判表力) 身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすることができる。【Aーイ】 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする。(I段階)	(知・技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師の支援を受けながら言葉が事物の内容を表していることができる。【(思・判・表) 教師と一緒に身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えようとしている。】 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	呼びかけてみよう ・自己紹介 ・おーい	・絵を見ながら教師と一緒に登場人物の音声や動きの模倣をする。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。 ・自分と登場人物を置き換えたり、教師や友達と役割分担をしながら繰り返し「おーい」と声を出して呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりしてやりとりを楽しむ。	算数 「さわってみよう、探してみよう」 音楽 「どんなうたがあるかな」 特別の教科 道徳 「友達と仲よく」 特別活動 「どうぞよろしくね会(2)」
	5月	9	(知及技) いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。【イ(ウ)⑦】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。【イ(ウ)⑧】 (思判表力) 文字に興味をもち、書くことができる。【Bーイ】 (学・人) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする。(I段階)	(知・技) 教師と一緒にいろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。【教師と一緒に筆記具の持ち方、正しい姿勢で書くことを知ることができる。】 (思・判・表) 文字に興味をもち、書くことができる。【(主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに言葉を使おうとしている。】	かいてみよう ・いろいろな線、形	・クレヨン、水性ペン等の筆記具を使っていろいろな線や形を書く。	算数 「いろいろな形をみつけよう」 図画工作 「作ってみよう」

6月	10	(知及技) 教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 【イ- (エ)】 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。【C-ア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(I段階)	(知・技) 教師の支援を受けながら読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、示された身近な事物や生き物などに気付き、注目することができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	絵本を読もう ・あなたはだあれ	・動物のシルエットを提示し、「この動物はなんでしょう」等と問いかける。 ・動物の動作や鳴き声などを模倣しながら、やりとりの楽しさを味わえるようにする。 ・お面やペープサートなどを用い、動物役を決め、物語を再現して楽しむ。 ・写真カードや動物の鳴き声で動物当てゲームをしながら、様々な動物の名前等を言う。	算数 「見た目の大きさを分けてみよう」 図画工作 「作ってみよう」
7月	10	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師と一緒に言葉が事物の内容を表していることを感ずること。 【ア- (ア)】 (思判表力) 教師と一緒に絵や矢印などの記号で表された意味に応じ行動することができる。【C- (ウ)】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(I段階)	(知・技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師と一緒に言葉が事物の内容を表していることを感ずることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に絵や矢印などの記号で表された意味に応じ行動することができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	どんな意味かな ・しるし ・記号 ・きまり	・提示された矢印の方向に体を動かすゲームを行う。 ・示された絵や矢印の記号を見ながらその場所へ移動する。 ・場所を表す絵や写真から自分が行きたい場所を選び、絵や矢印の記号を見て移動する。	算数 「おなじものをさがそう」 特別の教科道徳 「きまりを守って」
9月	10	(知及技) 遊びを通して、教師と一緒に言葉のもつ楽しさに触れることができる。【イ- (イ)】 (思判表力) 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、教師と一緒に登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。【C-エ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(I段階)	(知・技) 遊びを通して、教師と一緒に言葉のもつ楽しさに触れることができる。 (思・判・表) 絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、教師と一緒に登場人物の動きなどを模倣したりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	言葉で遊ぼう ・まほうのはこ	・帽子やマント等の実物を身に着けた教師が魔法使いの模倣をする様子を見る。 ・帽子やマント等の実物を身に着けて、教師と一緒に掛け声を言いながら魔法をかける動作をして魔法使いごっこをする。 ・魔法をかけて食べ物や飛び出す様子を、教師と一緒に呼びかけに対する応答遊び、音まね・声まね遊び等の遊びを通して表現し、言葉の響きやリズムを体感したり楽しんだりする。 ・教師の話聞いて、絵に注目したり、魔法の箱から小さい子供や食べ物が出るといふ展開を楽しむ。	算数 「パズルをやってみよう」 図画工作 「作ってみよう」 特別の教科道徳 「日頃お世話になっている人」 特別活動 「係の仕事しよう(1)」

2 学 期	10月	10	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師と一緒に言葉が事物の内容を表していることを感じる。 【アー (ア)】 (思判表力) 教師と一緒に伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。【A- (ウ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て知っている事物や出来事を指さしなどで表現することができる。【C- (イ)】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師と一緒に言葉が事物の内容を表していることを感じる。 (思・判・表) 教師と一緒に伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 ・教師と一緒に絵本などを見て知っている事物や出来事を指さしなどで表現することができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	絵本を読もう ・ほっとけーき	・絵を見ながら、知っている事物や出来事などを指さしたり、表情や身振り、音声で応答したりする。 ・絵を示しながら、「次は何をするかな」「どんな音かな」等、児童が自身の経験と照らし合わせたり、て考えたりする。 ・具体物や絵を見て言葉と結び付ける。 ・児童が見聞きしたことや感じたこと等を具体物や絵、写真等を手掛かりして想起したり、表情や身振り、音声で模倣したりして応答する。	算数 「いろいろな形をみつけよう」 図画工作 「作ってみよう」
	11月	10	(知及技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師と一緒に言葉が事物の内容を表していることを感じる。 【アー (ア)】 (思判表力) 教師と一緒に伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。【A- (ウ)】 ・教師と一緒に絵本などを見て知っている事物や出来事を指さしなどで表現することができる。【C- (イ)】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。(1段階)	(知・技) 身近な人の話し掛けに慣れ、教師と一緒に言葉が事物の内容を表していることを感じる。 (思・判・表) 教師と一緒に伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 ・教師と一緒に絵本などを見て知っている事物や出来事を指さしなどで表現することができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	絵本を読もう ・ほっとけーき ・観劇鑑賞	・絵を見ながら、知っている事物や出来事などを指さしたり、表情や身振り、音声で応答したりする。 ・絵を示しながら、「次は何をするかな」「どんな音かな」等、児童が自身の経験と照らし合わせたり、て考えたりする。 ・具体物や絵を見て言葉と結び付ける。 ・児童が見聞きしたことや感じたこと等を具体物や絵、写真等を手掛かりして想起したり、表情や身振り、音声で模倣したりして応答する。	算数 「いろいろな形をみつけよう」 図画工作 「作ってみよう」

	12月	10	（知及技）教師と一緒にいろいろな筆記具触れ、書くことを知ることができる。【イ－（ウ）㊦】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。【イ－（ウ）㊧】 （思判表力）文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。【Ｂ－イ】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）教師と一緒にいろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 ・教師と一緒に筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 （思・判・表）文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。 （主学）言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	かいてみよう ・年賀状	・年賀状に関連する言葉を聞いたり、いろいろな線で絵を表現したりする。	算数 「同じものを合わせよう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科道徳 「いろいろな挨拶②」 特別活動 「2学期頑張った会（1）」
	1月	9	（知及技）教師と一緒にいろいろな筆記具触れ、書くことを知ることができる。【イ－（ウ）㊦】 ・筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。【イ－（ウ）㊧】 （思判表力）文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。【Ｂ－イ】 （学・人）言葉で表すことやその良さを感ずるとともに、言葉を使おうとする。（1段階）	（知・技）教師と一緒にいろいろな筆記具に触れ、書くことを知ることができる。 ・教師と一緒に筆記具の持ち方や、正しい姿勢で書くことを知ることができる。 （思・判・表）文字に興味をもち、教師と一緒に書こうとすることができる。 （主学）言葉で表すことやそのよさを感ずるとともに、言葉を使おうとしている。	かいてみよう ・すみあそび	・鉛筆、筆等の筆記具に触れる。 ・筆で自由に線や文字を書く。	算数 「同じものを合わせよう」 図画工作 「描いてみよう」 特別の教科道徳 「いろいろな挨拶②」 特別活動 「3学期頑張ろう会（1）」

3 学 期	2月 9	(知及技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 【ア- (イ)】 (思判表力) 身近な人との関わりや出来事について、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 【B-ア】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとする。(I段階)	(知・技) 言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすることができる。 (思・判・表) 身近な人との関わりや出来事について、教師と一緒に伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。 (主学) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	言葉で遊ぼう ・ぼくのいちにち	・絵を見ながら、登場人物の動きを教師と一緒に模倣したり、様子や音を表す言葉、話している挨拶等を教師と一緒に言葉や動きで表現したりする。 ・絵や写真等を見ながら、教師の発問を聞き、言葉や動作で自由に表現したり、提示された実物や写真、絵カードを選んだり指さしたりして繰り返しやりとりをする。 ・絵を見ながら、教師の音声を模倣してみたり、教師と一緒に言葉で表現してみたりする。	算数 「1つずつ合わせてみよう」 図画工作 「作ってみよう」 特別の教科道徳 「日頃お世話になっている人」 特別活動 「係の仕事しよう (1)」
	3月 9	(知及技) 教師と一緒に読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。【イー (エ)】 (思判表力) 教師と一緒に絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。【C-イ】 ・教師と一緒に伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。【A-ウ】 (学・人) 言葉で表すことやその良さを感じるとともに	(知・技) 教師と一緒に読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつことができる。 (思・判・表) 教師と一緒に絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指さしなどで表現することができる。 ・教師と一緒に伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表すことができる。 (主学) 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとしている。	話してみよう ・がっこうだいすき	・一場面ずつ絵に注目し、教師と一緒に言葉や擬声語などを声に出す。 ・絵を見て次はどんな場面になるかを教師と一緒に考えたり、表現したりする。 ・教師が言った事物を表す絵カードに視線や意識を向けたり、指さしをしたりする。	算数 「数えてみよう」 図画工作 「見てみよう(鑑賞)」 特別の教科道徳 「学校は楽しいね①」
留意点 引継等						
評価方法		・三観点の確認 ・行動観察 ・授業に対する取り組み姿勢 ・理解度・習得度				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	20名		さんすう☆

			(知及び技) 知識及び技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小知的Ⅰ段階)			
年間目標			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小知的Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性等	数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小知的Ⅰ～Ⅲ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断 的視点他教科との関連
1 学期	4月	6	※全ての目標において、「教師と一緒に」の文言を文頭に付ける。 (知及び技)ものの有無に気付くことができる。 (Bア(ア)ア) (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。 (Bア(イ)ア) (学・人)数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	※全ての評価規準において、「教師と一緒に」の文言を文頭に付ける。 (知・技)ものの有無に気付いている。 (思・判・表)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P28 ・ある、ない③ ・具体物の操作 ・もの同士の対応 ・分類、分配、整理 ・形の相違 ・数詞、数唱 ・大小、多少、長短など	・絵を見ながら教師と一緒に登場人物の音声や動きの模倣をする。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。 ・自分と登場人物を置き換えたり、教師や友達と役割分担をしながら繰り返し「おーい」と声を出して呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりしてやりとりを楽しむ。	音楽「3びきのやぎのらがらどん」
	5月	6	(知及び技)目の前のものを、1個、2個、たくさんで表すことができる。 (Bア(ア)イ) ・5までの範囲で数唱することができる。(Bア(ア)ウ) (思判表力)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。 (Bア(イ)ア) (学・人)数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	(知・技)目の前のものを、1個、2個、たくさんで表している。 ・5までの範囲で数唱している。 (思・判・表)数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 (主学)数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P30 ・いち、に、たくさん ☆本P32 ・いち、に、さん、し、ご	・左右の手に一つずつ具体物を持ち、まだ両手には持てないほどの具体物がある状況を体感する。 ・操作を通して、「数えること」があることに気付かせ「1個、2個、たくさん」と表現するなど、「数唱」することについて学習する。 ・5までの範囲の数唱では、「数を数えること」ではなく「数を唱える」ことに留意する。日常生活の中でも、指差しや指を折りながら数唱することの体験を重ねる。	国語「呼びかけてみよう」

6月	8	（知及技）3までの範囲で具体物を取っている。 （Bア（ア）エ） （思判表力）数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。 （Bア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	（知・技）3までの範囲で具体物を取っている。 （思・判・表）数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P34 ・とりましよう	・視覚や聴覚、触覚など様々な感覚を通して、「数を捉えること」ができるようにする。 ・教科書のイラストのように、配る皿やトレイ、配る相手、数詞の「さん」などを手がかりに、必要な具体物を手に取る活動を行う。	
7月	6	（知及技）対応させてものを配ることができる。 （Bア（ア）オ） （思判表力）数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。 （Bア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	（知・技）対応させてものを配っている。 （思・判・表）数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P36 ・まーくにあわせて、ならべましよう	・教科書のイラストを参考に、実物を使って、実際にボウリングのピンを並べる活動をする。 ・ピンを手に取る前に、数唱を聞きながら、あるいは、自分で唱えながらマークを指差す。 ・マークの数を手がかりにピンを手に取り、並べる。	
9月	6	（知及技）形や色、位置が変わっても、数は変わらないことについて気付くことができる。（Bア（ア）カ） （思判表力）数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かすことができる。 （Bア（イ）ア） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き関心や興味を持っている。	（知・技）形や色、位置が変わっても、数は変わらないことに気付いている。 （思・判・表）数詞とものとの関係に注目し、数のまとまりや数え方に気付き、それらを学習や生活で生かしている。 （主学）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	☆本P44 ・ぜんぶ、「さん」	・りんごの「3個」も積み木の「3個」も同じ「3」で表すことや3個のリングの置き方を変えても「3」という数に変わりはないという学習を行う。 ・おはじきやひまわりのカードなど具体物を間隔を揃えたり、間隔を離したりして数えさせる。 ・教科書のおはじきのイラストに実際におはじきを乗せて数えたり、おはじきをずらして数えたりする。	
10月	6	（知及技）形が同じ物を選ぶことができる。（Cア（ア）㊦） （思判表力）ものの属性に着目し、様々な情報から同質なもののや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもつことができる。（Cア（イ）㊦） （学・人）数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	（知・技）形が同じ物を選んでいる。 （思・判・表）ものの属性に着目し、様々な情報から同質なもののや類似したものに気付き、日常生活の中で関心をもっている。 （主学）日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	○おなじものをさがそう ☆本P54～57 ・おなじかたちをみつけましよう ・おなじかたちをえらびましよう ※2年生では立体図形を扱う。	・1年生の復習をしながら、平面図形から立体図形に発展させていく。 ・立体図形の学習として積み木を使用し、児童が操作することで体験的に形を認識できるようにする。 ・複雑な形の積み木は使用せず、立方体や円柱、三角柱などの形が明確に分けられるものを使用する。 ・積み木をそれぞれの仲間間で分類をすることで、同じ形を認識できるようにする。	

2 学 期	11月	8	(知及技) 似ている二つのものを結び付けることができる。(Cア(ア)㊸) ・関連の深い一対ものもや絵カードを組み合わせたことができる。(Cア(ア)㊹) (思判表力)ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気づき、日常生活の中で関心を持つことができる。(Cア(イ)㊺) (学・人) 数学的活動の楽しさに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	(知・技) 似ている二つのものを結び付けている。 ・関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせている。 (思・判・表) ものの属性に着目し、様々な情報から同質なものや類似したものに気づき、日常生活の中で関心を持っている。 (主学) 日常生活の片づけなどにおいて、学んだことを活用している。	○おなじ、ちがうをさがそう ☆本P62～63 ・にているものをみつけましょう ☆本P64～65 ・そろえましょう ☆本P66～69 ・おなじかたちをみつめましょう	※平面図形、立体図形共に扱っている。 ・校内探索を行い、似ている形も含めて丸、三角、四角の形探しを行う。(正方形と長方形を似ている形として捉えさせるなど) ・積み木の立方体と直方体、円柱の高さが違うものなどを用意し、見る角度を示すことで、同じ部分と違う部分を感覚的に感じられるようにする。 ・ひとつの積み木を示して、教室中から同じ形のものを探すなどのゲームを行う。 ・児童の興味のあるお菓子の箱などを用意し、積み木と同じ形や似た形を探す。 ・手袋や靴下、靴など実物を用意し、バラバラになったものを揃えて片付ける。靴は左右にも意識させる。 ・トイレのスリッパを揃える活動を通して、日常的に一対を仲間にする活動を行う。	
	12月	6	(知及技) 大きさや長さなどを、基準に対して同じか違うかによって区別することができる。(D測定ア(ア)ア) ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現することができる。(Dア(ア)イ) (思判表力) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現することができる。(Dア(イ)ア) (学・人) 身の回りの具体物のもつ量の大きさに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決することができる。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用することができる。	(知・技) 大きさや長さなどを、規準に対して同じか違うかによって区別している。 ・ある・ない、大きい・小さい、多い・少ないなどの用語に注目して表現している。 (思・判・表) 大小や多少等で区別することに関心を持ち、量の大きさを表す用語に注目して表現している。 (主学) 身の回りの具体物のもつ量の大きさに気づき、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとしている。 ・算数で学んだことを学習や生活に活用しようとしている。	見た目の大きさを分けてみよう ☆P74～75 ・おおきいちいさい㊻	・大きさの異なる二つの具体物を「大きい」と「小さい」、「同じ」に区別し、用語を用いる。 ・大きい粘土のかたまりと小さい粘土かたまりを作る。 ・大きい粘土のかたまりと小さい粘土かたまりを操作し同じにする。 ・大きい砂山と小さい砂山を作る。 ・大きい砂山と小さい砂山を操作し同じにする。	国語「あなたはだあれ」
	1月	6			比べる言葉 ☆P78～79 ・おおき、すくない㊼	・ほとんど飲んである牛乳瓶とまだ飲んでない牛乳瓶を比べる。 ・コップにお茶やジュースを入れ、目印をもとに比べる。 ・同じコップに多いお茶と少ないお茶を入れる ・多いお茶と少ないお茶を操作し同じにする。 ・基準に対して「多い」「少ない」を区別し、用語を用いる。	国語「あなたはだあれ」

期	2月	6			比べる言葉 ☆P80～81 ・ながい、みじかい	・具体物の長さに関心を持つ。 ・3つの長さの異なる同質の棒をそれぞれの長さのくぼみに入れ道を平らにし、ビー玉を転がしたり、車を走らせたりする。	国語「あなたはだあれ」
	3月	6			3学期のまとめ ・大きさ、多さ、長さ 1年間のまとめ	・3学期に学習したことを振り返る。 ・2年生で学習したことを振り返る。	国語「あなたはだあれ」
留意点・引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・理解度、習得度 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・行動観察					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	20		おんがく☆

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断 的視点 他教科との 関連
Ⅰ 学期	4月	6	(知及技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したりすることができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 楽器の音を聴いて、教師と一緒に二択で選ぶことができる。(Ⅰ段階Bア) (学・人) 教師と一緒に拍や曲の特徴的なリズムを感じ取ろうとしている。(Ⅰ段階)	(知・技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したりすることができる。 (思・判・表) どの楽器の音かを聴いて、教師と一緒に二択で選んでいる。 (主学) 教師と一緒に拍や曲の特徴的なリズムを感じ取ろうとしている。	○どんなうたがあるかな (音) ・せんせいとおともだち ・ちゅうりっぷ ○楽器の音を聴いてみよう (鑑) ・がっきのおとあて	・絵を見ながら教師と一緒に登場人物の音声や動きの模倣をする。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。 ・自分と登場人物を置き換えたり、教師や友達と役割分担をしながら繰り返し「おい」と声を出して呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりしてやりとりを楽しむ。	国語「呼びかけてみよう」 体育「体づくり運動遊び」 道徳「学校は楽しいね」 特活「どうぞよろしくね会」
	5月	6	(知及技) 歌や音楽を聴いて教師と一緒に歌に合わせて声を出したり、体を動かしたりすることができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 教師と一緒に歌に合わせて鈴を鳴らそうとしている。(Ⅰ段階Aア) (学・人) 教師と一緒に拍や曲の特徴的なリズムを意識して身体全体を動かそうとしている。(Ⅰ段階)	(知・技) 教師と一緒に歌に合わせて声を出したり、体を動かしたりすることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に歌に合わせて鈴を鳴らしている。 (主学) 教師と一緒に、拍や曲の特徴的なリズムを意識して身体全体を動かそうとしている。	○どんなうたがあるかな (音) ・こいのぼり ・すずのきょく ○楽器の音を聴いてみよう (鑑) ・ことりのうた	・教師と一緒に挿絵や写真、実物を見て、端午の節句に飾られる鯉のぼりのことを知る。 ・教師と一緒に音楽が流れる中で、楽器の音を出す。 ・動画や効果音のCDを聴き、小鳥のいろいろな鳴き声を知る。	国語「呼びかけてみよう」 体育「体づくり運動遊び」
	6月	6	(知及技) 範唱を聴いて、教師と一緒に声を出ることができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 教師の示範を見て、教師と一緒に音楽に合わせて足踏みや手拍子、楽器、発声等の方法で表現することができる。(Ⅰ段階Aア) (学・人) 範唱を聞いたり教師や友達と歌ったりすることができる。(Ⅰ段階)	(知・技) 範唱を聴いて、教師と一緒に声を出することができる。 (思・判・表) 教師と一緒に音楽に合わせて足踏みや手拍子、楽器、発声等の方法で表現している。 (主学) 範唱を聞いたり教師や友達と歌ったりしている。	○うたおう (音) ・かたつむり ・ながぐつ マーチ ・おやつたーべよ。 ○みてきいて (鑑) ・はらぺこあおむし	・教師と一緒にかたつむりになったつもりで身体表現したり、歌の一部を声で表現したり、歌ったりする。 ・教師と一緒に「どんどん」の部分で足踏みしたり歩いたりする。 ・教師と一緒に歌に合わせて「たべよ」「だいすき」と繰り返し、音や音楽を感じて体を動かしたり声を出したりする。 ・教師と一緒に手の平や体をくすぐったり、児童同士で向かい合ってお互いの体をくすぐったりして楽しむ。	国語「言葉で遊ぼう」

2 学 期	7月	6	(知及技) 声を出したり、教師と一緒にメロディーや歌詞を意識して歌ったりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) 教師と一緒にツリーチャイム等の楽器を好きなように鳴らすことができる。(1段階Aア) (主学) 教師と一緒に挿絵や絵本を見ながら歌を聴き、登場人物になったつもりで声を出したり、歌を歌ったり、動作をしている。(1段階)	(知・技) 声を出したり、教師と一緒にメロディーや歌詞を意識して歌うことができている。 (思・判・表) 教師と一緒にツリーチャイム等の楽器を好きなように鳴らしている。 (主学) 教師と一緒に登場人物になったつもりで声を出したり、歌を歌ったり、動作をしている。	○うたおう (音) ・たなばたさま ・うみ ○みてきいて (鑑) ・3びきのやぎのがらがらどん	・教科書のイラストや写真、笹や短冊などの実物を示し、教師の支援を受けながら七夕へのイメージを高める。 ・教科書の写真や大きな写真、イラストを用い、海のイメージを高められるようにする。 ・教師と一緒に登場人物になって、発声や動きなどで表現するようにする。	国語「言葉で遊ぼう」 図工「ちょきちょきペタペタ」
	9月	7	(知及技) 音楽が流れる中で、教師と一緒に身体表現することができる。(1段階Aア) (思判表力) 教師と一緒に伴奏のリズムに合わせて体の部位を触ることができる。(1段階Aア) (学・人) 教師と一緒に小道具を使って主人公になりきって動かそうとしている。(1段階)	(知・技) 音楽が流れる中で、教師と身体表現することができる。 (思・判・表) 教師と一緒に伴奏のリズムに合わせて体の部位を触っている。 (主学) 教師と一緒に、小道具を使って主人公になりきって動かそうとしている。	○からだをうごかさう (音) ・とんぼのめがね ・あたま・かた・ひざ・ぼん ○いっしょに音を楽しもう (鑑) ・まじょのたつきゅうびん	・教科書の挿絵や映像等を示し、トンボが飛んでいる様子をイメージできるようにする。 ・教師が示範を児童の正面で見せ、教師の支援を受けながら、曲に合わせて身体模倣を行うように促す。 ・教師と一緒に教科書の絵や動画を見ながら様子を思い浮かべて聴くようにする。	体育「体づくり運動遊び」
	10月	7	(知及技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したり、歌ったりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) 音楽が流れる中で、教師と一緒にバスごっこ遊びの表現をすることができる。(1段階Bア) (学・人) 運転士になったつもりで、自分なりに表現しようとしている。(1段階)	(知・技) 教師と一緒に体を動かしたり、声を出したり、歌うことができている。 (思・判・表) 音楽が流れる中で、教師と一緒にバスごっこ遊びの表現をしている。 (主学) 運転士になったつもりで、自分なりに表現しようとしている。	○からだをうごかさう (音) ・おばけなんてないさ ・バスごっこ ○いっしょに音を楽しもう (鑑) ・はたらくるま	・児童に教科書のイラストなどを見せて、おばけのイメージを示す。 ・音楽が流れる中で、教師と一緒にバスに乗ったつもりになり、自由ごっこ遊びをする。 ・教科書の挿絵や写真を示しながら鑑賞できるように促す。	体育「体づくり運動遊び」 道徳「自分の仕事」 特活「校外学習に行こう」
	11月	7	(知及技) いろいろな楽器に興味・関心をもって、自ら手を伸ばしたり、自由に鳴らしたりしながら楽器に親しむことができる。(1段階Aア) (思判表力) 教師や友達と一緒に、歌詞に合わせて手のひらで動作をして楽しもうとすることができる。(1段階Aア) (主学) 音楽が流れる中で、教師と一緒にワルツのリズムで左右に体を動かそうとしている。(1段階)	(知・技) いろいろな楽器に興味・関心をもって、自ら手を伸ばしたり、自由に鳴らしたりしながら楽器に親しむことができる。 (思・判・表) 教師や友達と一緒に、歌詞に合わせて手のひらで動作をして楽しもうとしている。 (主学) 音楽が流れる中で、教師と一緒にワルツのリズムで左右に体を動かそうとしている。	○楽器をならそう (音) ・がっきをならそう ○おかいあったのしくあそばそう (音) ・びすけっとをやきましょ ○うたやリズムを楽しもう (鑑) ・おどるこねこ	・教科書の挿絵やイラストカード、写真カード、実際の楽器を示して、教師と一緒に鳴らす楽器を確認できるようにする。 ・児童と向かい合って、児童の手のひらや体をくすぐって遊ぶ。 ・音楽が流れる中で、左右に体を動かすようにうながす。	道徳「友達と仲よく」

3 学 期	12月	7	(知及技) 教師と一緒に、大太鼓、小太鼓を演奏したり、それぞれの楽器の役割を決めて演奏したりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) 教師と一緒に、音楽が流れる中で身体表現することができる。(1段階Aア) (学・人) 教師と一緒に、曲に合わせて足踏みや行進をしたり、トランペットを吹く真似をしようとしている。(1段階)	(知・技) 教師と一緒に、大太鼓、小太鼓を演奏したり、それぞれの楽器の役割を決めて演奏できている。 (思・判・表) 教師と一緒に、音楽が流れる中で、身体表現している。 (主学) 教師と一緒に、曲に合わせて足踏みや行進をしたり、トランペットを吹く真似をしようとしている。	○楽器をならそう(音) ・おおきなたいこ ・まつばっくり ○うたやリズムを楽しもう(鑑) ・おもちゃのへいたい	・教師と一緒に大太鼓、小太鼓を演奏したり、それぞれの楽器の役割を決めて演奏したりするようにする。 ・ペープサートやパネルシアター等を見て、歌詞の内容をイメージできるようにする。 ・曲を聴きながら、教師と一緒にその場で足踏みをしたり、行進をしたりするように促す。	道徳「自然の中で」
	1月	6	(知及技) 教師と一緒に、リズムに合わせて、動物の真似っこをしたり、声を出したりしながらやりとりすることができる。(1段階Aア) ・季節やわらべ歌などの音楽を聴き、教師と一緒に声を出したり、歌ったりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現することができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	(知・技) 教師と一緒に、リズムに合わせて、動物の真似っこをしたり、声を出したりしながらやりとりできている。 ・季節やわらべ歌などの音楽を聴き、教師と一緒に声を出したり、歌ったりすることができる。 (思・判・表) 音や音楽を聴いて、自分なりに表現している。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○どうぶつになってあそぼう(音) ・のねずみ ・くまさんくまさん ○わらべうたであそぼう(音)(鑑) ・おちたおちた	・教師と一緒にくすぐったり、児童同で向かい合って触れあったりして遊ぶ。 ・教師が児童とペアになり、音楽が流れる中で、歌詞に合わせた動作で踊る。 ・教科書の挿絵を示しながら、教師が「落ちた落ちた、何が落ちた？」と歌いかけ、児童が落ちた物を指定し、「ドーン」「ヒュー」「キラキラ」「ゴロゴロ」などの擬態語を添えて、教師と一緒に身体表現する。	国語「絵本を読む」 体育「表現遊び」
	2月	6	(知及技) 音楽を聴き、歌詞に合わせながら、教師と一緒に声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりすることができる。(1段階Aア) (思判表力) 旋律やリズムを聴きながら、教師の働きかけにより児童同士で関わって遊ぶことができる。(1段階Aア) (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。(1段階)	(知・技) 音楽を聴き、歌詞に合わせながら、教師と一緒に声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりすることができる。 (思・判・表) 旋律やリズムを聴きながら、教師の働きかけにより児童同士で関わって遊んでいる。 (主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○げんきなこえてうたおう(音) ・こんこんくしゃんのうた ○わらべうたであそぼう(音)(鑑) ・まめまき ○音や音楽をきいて、自分なりの楽しさを見つけよう(鑑) ・すてきなぼうしやさん	・音楽が流れる中で、少しずつ曲のテンポに合わせてそれぞれの動物のくしゃみを身体表現するようにする。 ・音楽をかけながら、教師の挿絵やペープサート、パネルシアター等を示し、歌詞のイメージをもてるようにする。 ・教師と一緒に人形を使ったり、実際に動物になりきって帽子をかぶったりして遊ぶようにする。	国語「絵本を読む」 特活「心の鬼を退治しよう」

3月	6	(知及技) わらべ歌などの音楽を聴き、教師と一緒に友達と関わり合いながら声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりすることができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 教師と一緒に、音楽が流れている中で動物になったつもりで体を動かすことができる。(Ⅰ段階Aア) (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。(Ⅰ段階)	(知・技) わらべ歌などの音楽を聴き、教師と一緒に友達と関わり合いながら声を出したり、歌ったり、身体表現をしたりすることができる。(Ⅰ段階Aア) (思・判・表) 教師と一緒に、音楽が流れている中で動物になったつもりで体を動かしている。(主学) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動に楽しみながら取り組んでいる。	○すきなどうぶつになってみよう(音) ・ぞうさん ○わらべうたであそぼう(音)(鑑) ・なべなべそこぬけ ○音や音楽をきいて、自分なりの楽しさを見つけよう(鑑) ・がぼっと	・音楽が流れる中で、教師と一緒にぞうさんになったつもりで歩いたり、鼻に見立てて腕を振ったりするように促す。 ・教科書の挿絵を示した後で、遊び方を見せる。そして、教師の動作を模倣しながら、自然な雰囲気の中で歌に慣れるようにする。 ・音楽が流れる中で、児童と一緒に踊り、イメージを持てるようにしながら踊る。	体育「表現遊び」
※「日のまる」、国歌「君が代」は、時期に応じて適切に指導する。 ※児童らの興味関心の高い曲及び流行の曲等がある場合には、適時取り扱う。 ※下段階の内容を取り扱う場合もある。						
留意点 引き継ぎ 等						
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取組姿勢 ・理解度・習得度 ・行動観察 ・実技テスト				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	20名		

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	形や色などの造形的な視点に気付き、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫してつくり出すことができるようにする。			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	造形的なよさや美しさ、表したいことや表し方などについて考え、発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	6	(知及技)様々な種類の紙を使った制作活動を通して、色々な形や色に気付くことができる。(1段階A共通事項ア(ア)) 教師と一緒に、様々な紙をくしゃくしゃにしたり、破いたりすることができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力)様々な紙の材質や色などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に色々な形や模様に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)) (学・人)教師と一緒に様々な種類の紙を使った制作活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。(1段階)	(知・技)様々な種類の紙を使った制作活動を通して、色々な形や色に気付いている。 教師と一緒に、様々な紙をくしゃくしゃにしたり、破いたりしている。 (思・判・表)様々な種類の紙を使って、教師と一緒に色々な形や模様に表している。 (主学)教師と一緒に様々な種類の紙を使った制作活動に取り組もうとしている。	つくってみよう ～びりびりくしゃくしゃべたべた～ ・こいのぼり ・誕生日表 ・母の日	・絵を見ながら教師と一緒に登場人物の音声や動きの模倣をする。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。 ・自分と登場人物を置き換えたり、教師や友達と役割分担をしながら繰り返し「おい」と声を出して呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりしてやりとりを楽しむ。	国「言葉で遊ぼう」 算「いろいろな形をみつけよう」 道「いろいろな挨拶」 「日頃お世話になっている人」

5月	6	（知及技）土や砂を使った活動を通して、形や色などに気付くことができる。（I段階共通事項ア(ア)） 土や砂を使って、教師と一緒に丸めたり、穴を掘ったりして形や作品を作ることができる。（I段階Aア(イ)） （思判表力）材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表すことができる。（I段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)） （学・人）教師と一緒に土や砂を使った活動を通して、つくりだすことの楽しさに気付く。（I段階）	（知・技）土や砂を使った活動を通して、形や色などに気付いている。 教師と一緒に土や砂を丸めたり穴掘ったりして形を工夫している。 （思・判・表）材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表している。 （主学）教師と一緒に土や砂の感触を楽しもうとしている。	つくってみよう ～土や砂を使って～ ・トンネル ・だんご ・ケーキ ・お皿 ・箸置き ・	・窯業用の土や砂場で安全に活動するためのきまを確認する。 ・砂や土に触れた感覚を味わいながら、手や体全体、用具を使って思い付いたことを試す。 ・個人やグループで、好きな形やつくりたいものをつくる。 ・活動中の思い出や工夫したことを発表し合い、活動を振り返る。	国「絵本を読もう」 算「おなじものをさがそう」
6月	6	（知及技）絵の具を使った制作活動を通して、色の違いや絵の具の感触に気付くことができる。（I段階共通事項ア(ア)） 教師と一緒に絵の具を指や手のひらにつけて、描いたり、塗ったりすることができる。（I段階Aア(イ)） （思判表力）材料などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に模様を表すことができる。（I段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)） （学・人）教師と一緒に絵の具を使った制作活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。（I段階）	（知及技）絵の具を使った制作活動を通して、色の違いや絵の具の感触に気付いている。 教師と一緒に絵の具を指や手のひらにつけて、描いたり、塗ったりしている。 （思判表力）材料などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に模様を表している。 （主学）教師と一緒に絵の具を使った制作活動に取り組もうとしている。	かいてみよう ～てでさわってかくのきもちいい～ ・父の日 ・学級目標	・自由にかく（好きなもの、かきたいものをかく） ・テーマを基にかく（身近な人、動植物、自然、見たことや体験したことをかく） ・手や足、用具を使って絵の具で模様や形をあらわす ・画用紙や新聞紙を破ったり、写真やイラストなどを切り貼りして、表したいことを表現したり、偶然にできた形から表現したりする。	国「言葉で遊ぼう」 算「おなじものをさがそう」 道「いろいろな挨拶」 「日頃お世話になっている人」

	7月 6	（知及技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くことができる。（1段階共通事項ア(ア)） （思判表力）身の回りにあるものから、表したいことを思いついたり、教師と一緒に作品を見たりすることができる。（1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)） （学・人）形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付くことができる。（1段階）	（知・技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。 （思・判・表）身の回りにあるものから、表したいことを思いついたり、教師と一緒に作品を見たりする。 （主学）形や色に関わりながら、楽しんで鑑賞の活動に取り組もうとしている。	見てみよう （鑑賞） ・みんなの作品	・教師に作品を見せたり、友達と見せ合ったりする。 ・楽しかったことや工夫したことを発表する。 ・作品を展示し、鑑賞する。 ・他学級や他学年の作品を鑑賞する。	国「話してみよう」 道「友達と仲よく」
	9月 7	（知及技）絵の具や花・木の実などの自然物を使った制作活動を通して、形や色などについて気付くことができる。（1段階共通事項ア(ア)） 教師と一緒に、絵の具や花・木の実などの自然物を使って、いろいろな色の水をつくることができる。（1段階Aア(イ)） （思判表力）自然物などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に色水に表すことができる。（1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)） （学・人）作った色水を筆や霧吹き等を使って、教師と一緒に制作活動に取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。（1段階）	（知・技）絵の具や花・木の実などの自然物を使った制作活動を通して、形や色などについて気付いている。 教師と一緒に、絵の具や花・木の実などの自然物を使って、いろいろな色の水をつくらしている。 （思・判・表）教師と一緒に花や木の実等で作った色水で描く工夫をしている。 （主学）教師と一緒に水鉄砲やじょうろ等で描く活動を楽しもうとしている。	つくってみよう・かいてみよう ～色水～ ・筆や霧吹きで模様を描く	・色水づくりの方法を知り、活動への関心をもつ。 ・絵の具を使ったり、色水同士を混ぜ合わせたりして、いろいろな色水の水をつくる。 ・つくった色水から、思い付いた活動に取り組む。 ・友人とお互いの活動を見て回る。 ・片付けをする。	国「絵本を読もう」 算「数えてみよう」 道「自然の中で」 「きまりを守って」

2
学
期

10月	7	(知及技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くことができる。(1段階共通事項ア(ア)) クレヨンや絵の具などの扱いが分かり、教師と一緒に自分なりの表現方法で描くことができる。(1段階Aア(イ)) (思判表力) 材料などから、イメージをもち、教師と一緒に絵に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)) (学・人) 形や色などに関わりながら、楽しんで活動に取り組み、作りだすことの楽しさに気付くことができる。(1段階)	(知・技) 自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。クレヨンや絵の具などの扱いが分かり、教師と一緒に自分なりの表現方法で描いている。 (思・判・表) 材料などから、イメージをもち、教師と一緒に絵に表している。 (主学) 形や色などに関わりながら、楽しんで活動に取り組もうとしている。	かいてみよう ～楽しい気持ちを描いてみよう～ ・感想画 ・ハロウィン製作	・絵本の読み聞かせを見たり、聞いたりして、好きなどころを思い浮かべたり話し合ったりする。 ・自分が描きたい場面を決めて、挿絵等を参考に絵の具やクレヨンを使って絵を描く。 ・お互いの作品を観て、その様子や表し方について友人と伝え合う。	国語「絵本を読もう」
11月	7	(知及技) 身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付くことができる。(1段階共通事項ア(ア)) 身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒にお面や動物などの作品を作ることができる。(1段階共通Aア(イ)) (思判表力) 材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表すことができる。(1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)) (学・人) つくりだすことの楽しさに気付き、教師と一緒に制作活動に取り組む。(1段階)	(知・技) 身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付いている。 身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒にお面や動物などの作品を作っている。 (思・判・表) 材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表している。 (主学) 材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、自然物などを使った制作活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	つくってみよう ～葉っぱを組み合わせて～ ・お面 ・動物 など	・学校の校庭や近くの公園などの自然を利用して、その場所にある自然の材料(石、葉、砂、草木など)の形や色、質感などのおもしろさや美しさに関心をもって集め、それらの材料の特徴から発想して活動する。 ・並べる、組み合わせる、積む、身にまとうなどしながら、自然の材料との関わりを深めて楽しむ。	国「話してみよう」 算「おなじ、ちがうをさがそう」 道「いろいろな挨拶」 「日頃お世話になっている人」

12月	7	（知及技）身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付くことができる。（1段階共通事項ア(ア)） 身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒に石や葉をこすり、形を浮き出して版画を作ることができる。（1段階共通事項ア(イ)） （思判表力）材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表すことができる。（1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)） （学・人）つくりだすことの楽しさに気付き、教師と一緒に制作活動に取り組む。（1段階）	（知・技）身の回りの自然物などを使った制作活動を通して、形や色などに気付いている。 身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒に石や葉をこすり、形を浮き出して版画を作っている。 （思・判・表）材料などから、イメージをもち、教師と一緒に形に表している。 （主学）材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、自然物などを使った制作活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	かいてみよう ～葉っぱや石などの自然物をごしごしこすって～ ・こすり出し ・クリスマス製作	・自分たちの身の回りにあるでこぼこに興味をもつ。 ・こすり出してでこぼこを写し取ることができ る。 ・身の回りの様々なものや場所からでこぼこを探し出し、色鉛筆やクレヨン・パスなどでこすり出す。 ・自分がこすり出した形を見て感じたことを友人と伝え合い、身の回りには様々なでこぼこがあることを確認する。	国「絵本を読もう」 算「いろいろな形をみつけよう」 道「自然の中で」
1月	6	（知及技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付くことができる。（1段階共通事項ア(ア)） 身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒に丸めたり、ねじったり、並べたり、積み重ねたり、組み合わせたり、工夫してつくることができる。（1段階共通事項Aア(イ)） （思判表力）身の回りの材料などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に形に表すことができる。（1段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)） （学・人）つくりだすことの楽しさに気付き、教師と一緒に制作活動に取り組む。（1段階）	（知・技）自分が感じたことや行ったことを通して、形や色などについて気付いている。 身の回りの自然物などに触れながら、教師と一緒に丸めたり、ねじったり、並べたり、積み重ねたり、組み合わせたり、工夫してつくっている。 （思・判・表）身の回りの材料などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒に形に表している。 （主学）材料の形や色、触った感じなどに関心をもち、自然物などを使った制作活動に教師と一緒に楽しく取り組もうとしている。	つくってあそぼう ～身の回りにある材料や用具を使って～	・自由につくる（好きなものや表したい形をつくる） ・テーマを基につくる（お店屋さん、おもちゃ作りなど） ・作ったもので遊ぶ（お店屋さんごっこ、おもちゃで遊ぼう、ゲーム大会など） ※身の回りにある材料粘土や草木、新聞紙や折り紙、段ボールやいろいろな大きさの箱など ※身の回りにある材料のり、はさみ、ステープラー、接着剤など	国「話してみよう」

3 学期	2月 6	(知及技) 粘土に働きかけることを通して、形や色などについて気付くことができる。(I段階共通事項ア(ア)) 教師と一緒に、粘土を丸めたり、叩いたり、伸ばしたりすることができる。(I段階Aア(イ)) (思判表力) 材料から自分のイメージをもち、教師と一緒に色々な形や模様を表すことができる。(I段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)) (学・人) 教師と一緒に粘土に働きかけることを通して、つくりだすことの楽しさに気付く。(I段階)	(知・技) 粘土に働きかけることを通して、形や色などについて気付いている。 教師と一緒に、粘土を丸めたり、叩いたり、伸ばしたりしている。 (思・判・表) 材料から自分のイメージをもち、教師と一緒に色々な形や模様を表している。 (主学) 教師と一緒に粘土の感触を楽しもうとしている。	つくってみよう ～粘土であそぼう～ ・のばす ・ちぎる ・型押し ・丸める など	・自由につくる(好きなもの、つくりたいものをつくる) ・粘土ケーキづくり(いろいろな色の紙粘土を使って自分だけのケーキをつくる) ・テーマを決めてつくる(お団子づくり、ヘビづくりなど)	国「話してみよう」 算「いろいろな形をみつけよう」
	3月 6	(知及技) プレゼント作りを通して、色々な形や色に気付くことができる。(I段階共通事項ア(ア)) 教師と一緒に絵を描いたり、シールを貼ったりしてプレゼントを作ることができる。(I段階Aア(イ)) (思判表力) 様々な素材などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒にプレゼント作りに表すことができる。(I段階共通事項ア(イ)、Aア(ア)) (学・人) 教師と一緒にプレゼント作りに取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。(I段階)	(知・技) プレゼント作りを通して、色々な形や色に気付いている。 教師と一緒に絵を描いたり、シールを貼ったりしてプレゼントを作っている。 (思・判・表) 様々な素材などを基に自分のイメージをもち、教師と一緒にプレゼント作りに表している。 (主学) 教師と一緒にプレゼント作りに取り組み、つくりだすことの楽しさに気付く。(I段階)	つくってみよう ～つくってプレゼントしよう～ ・フォトフレーム ・修了記念作品バック	・誰に、どうしてプレゼントをつくるのかを知り、身近な材料や用具を使ってプレゼントを制作する。(卒業生へのプレゼント、修了記念作品バック)	国「話してみよう」 算「おなじ、ちがいをさがそう」 道「いろいろな挨拶」「日頃お世話になっている人」
留意点 引き継ぎ等						
評価方法		・三観点の確認・授業に対する取組姿勢・課題の処理意欲・習得度・行動観察・ポートフォリオ				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
70	20名		

年間目標			(知及び技) 知識及び技能	教師と一緒に、楽しく体を動かすことができるようにするとともに、健康な生活に必要な事柄ができるようにする。			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	体を動かすことの楽しさや心地よさを表現できるようにするとともに、健康な生活を営むために必要な事柄について教師に伝えることができるようにする。			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	簡単な合図や指示に従って、楽しく運動しようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断 的視点 他教科との 関連
	4月	5	(知及技) 教師と一緒に、歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きができる。 (Ⅰ段階Aア) (思判表力) 体を動かすことの楽しさを表現することができる。 (Ⅰ段階Aイ) (学・人) 簡単な合図や音楽に合わせて、楽しく体を動かそうとする。(Ⅰ段階Aウ)	(知・技) 歩く、走る、転がるなどの基本的な体の動きをしている。 (思・判・表) 体を動かすことの楽しさを表現している。 (主学) 簡単な合図や音楽に合わせて、楽しく体を動かそうとしている。	体づくり運動遊び① ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・リトミックをしよう	・絵を見ながら教師と一緒に登場人物の音声や動きの模倣をする。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。 ・自分と登場人物を置き換えたり、教師や友達と役割分担をしながら繰り返し「おーい」と声を出して呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりしてやりとりを楽しむ。	国：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 算：「数えてみよう」 音：「からだをうごかさう」
	5月	6	(知及技) 教師と一緒に、簡単な動物の動きをすることができる。(Ⅰ段階Aア) (思判表力) 動物の動きを自分なりに作って表現することができる。(Ⅰ段階Aイ) (学・人) 教師の指示に従って、うがい・手洗いに取り組もうとする。(Ⅰ段階Gア)	(知・技) 教師と一緒に、簡単な動物の動きをしている。 (思・判・表) 動物の動きを自分なりに作って表現している。 (主学) 教師の指示に従って、うがい・手洗いに取り組もうとしている。	体づくり運動遊び② ・あつまりっこ ・ウォーミングアップ ・動物リトミック 保健 ・うがい、手洗い (年間を通して)	・あつまりっこ 合図に合わせて集合する。 ・ウォーミングアップ 歩く、走る、転がる ・動物リトミック リズムやカウントに合わせて動物の真似っこをする。 ・感想発表 ・うがい、手洗い	国：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 算：「数えてみよう」 音：「からだをうごかさう」「どうぶつになってあそぼう」

Ⅰ学期	6月 6	(知及技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(Ⅰ段階Cア) (思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (Ⅰ段階Cイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする。(Ⅰ段階Cウ)	(知・技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。	走・跳の運動遊び① ・かけっこをしよう	・集合 ・準備体操 ・かけっこ スタート、ゴールを確認する。 教師と一緒に走る。 1人で走る。 友達と一緒に走る。 ・感想発表	国：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 算：「数えてみよう」 音：「からだをうごかさう」
	7月 6	(知及技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かすことができる。(Ⅰ段階Cア) (思判表力) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (Ⅰ段階Cイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとする。(Ⅰ段階Cウ)	(知・技) 教師と一緒に、走ったり、跳んだりして楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 走ったり、跳んだりして体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、走・跳の運動遊びをしようとしている。	走・跳の運動遊び② ・ジャンプをしよう	・集合 ・準備体操 ・跳んでみよう i ハードルジャンプ 片足、両足 ii 的を触る 150cm程度の的をジャンプして触る。 ・感想発表	国：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 「どんな意味かな」 算：「数えてみよう」 音：「からだをうごかさう」
	9月 6	(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。(Ⅰ段階Dア) (思判表力) 水中での感覚や心地よさを表現することができる。 (Ⅰ段階Dイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとする。(Ⅰ段階Dウ)	(知・技) 教師と一緒に、楽しく体を動している。 (思・判・表) 水中での感覚や心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。	水遊び① ・水と友達になろう	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・顔付け 合図に合わせて水に顔をつける。 ・潜る ・自由タイム ・感想発表	国：「言葉で遊ぼう」 算：「数えてみよう」 音：「からだをうごかさう」

2 学 期	10月	6	(知及技) 教師と一緒に、楽しく体を動かすことができる。(1段階Dア) (思判表力) 水中での感覚や心地よさを表現することができる。(1段階Dイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとする。(1段階Dウ)	(知・技) 教師と一緒に、楽しく体を動している。 (思・判・表) 水中での感覚や心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、水遊びをしようとしている。	水遊び② ・水に慣れよう	・集合 ・準備体操 ・水かけっこ 教師や友達と水のかけ合いをする。 ・水中ウォーキング 教師や友達と水中を歩く。 ・輪くぐり 潜って輪をくぐる。 ・潜る ・自由タイム ・感想発表	国：「言葉で遊ぼう」 算：「数えてみよう」 音：「からだをうごかさう」
	11月	6	(知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Eア) (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Eイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする。(1段階Eウ)	(知・技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。	ボール遊び① ・ボールを転がしてみよう、投げてみよう	・集合 ・準備体操 ・ボール転がし ボールを転がして的に当てる。 ・ボール投げ ボールを投げて的に当てる。 ・感想発表	国：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 算：「数えてみよう」 音：「からだをうごかさう」
	12月	6	(知及技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Eア) (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Eイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとする。(1段階Eウ)	(知・技) 教師と一緒に、ボールを使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、ボール遊びをしようとしている。	ボール遊び② ・ボールを蹴ってみよう	・集合 ・準備体操 ・ボール蹴り ボールを蹴って的に当てる。 ・ボールを蹴って、ゴールに入れる。 ・感想発表	国：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 算：「数えてみよう」 音：「からだをうごかさう」

3 学 期	1月	6	(知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Bア) (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Bイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとする。(1段階Bウ)	(知・技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。	器械・器具を使っての遊び① ・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱をまたぐ ii マット上を転がる iii マット上ジャンプ ・感想発表	国：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」「どんな意味かな」 音：「からだをうごかさう」
	2月	6	(知及技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かすことができる。(1段階Bア) (思判表力) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Bイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとする。(1段階Bウ)	(知・技) 教師と一緒に、器械・器具を使って楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 器械・器具を使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、器械・器具を使っての遊びをしようとしている。	器械・器具を使っての遊び② ・サーキット運動をしよう	・集合 ・準備体操 ・サーキット運動 i 跳び箱上からジャンプ ii マット上を転がる iii マット上で前転 ・感想発表	国：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」「どんな意味かな」 音：「からだをうごかさう」
	3月	5	(知及技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。(1段階Fア) (思判表力) 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。(1段階Fイ) (学・人) 簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとする。(1段階Fウ)	(知・技) 教師と一緒に、音楽の流れている場所で楽しく体を動かしている。 (思・判・表) 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図や指示に従って、表現遊びをしようとしている。	表現遊び① ・ダンスをしよう	・集合 ・準備体操 ・ダンス i 設定ダンス 動物曲、流行曲 ii 自由ダンス ・感想発表	国：「呼びかけてみよう」「言葉で遊ぼう」 算：「数えてみよう」 音：「からだをうごかさう」
	留意点 引継等						
評価方法		・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度 ・記録測定 ・実技テスト ・行動観察					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	20名		わたしたちの道徳

年間目標	道徳的諸価値についての理解を基に、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育て、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。
------	---

日	月	時数	目標	主題名	活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
	4月	3	①教師や友達、他学年の友達に親しみ、教師と一緒に学校生活を楽しもうとする気持ちをもつ。 ②教師と一緒に身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする気持ちをもつ。	【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ①学校は楽しいね(1) 【D 自然愛護】 ②自然の中で(1)	①学級や学年、学部全体での学習を通して、教師や友達との関わりを楽しみ経験を積み、教師と一緒に学校生活を楽しむ。 ②教師と一緒に校内に咲いている草花を観賞したり昆虫をみつけたりして自然を感じる。花や野菜を大切に育てる。	・絵を見ながら教師と一緒に登場人物の音声や動きの模倣をする。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。 ・自分と登場人物を置き換えたり、教師や友達と役割分担をしながら繰り返し「おい」と声を出して呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりしてやりとりを楽しむ。
1 学	5月	3	①教師と一緒に気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする気持ちをもつ。	【B 礼儀】 ①いろいろな挨拶(1)	①教師や友達に対して、教師と一緒に朝や帰りの挨拶等、場に応じた挨拶をする。名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。何かをしてもらったら、お礼を伝える。	生活 オ 人との関わり カ 役割 国語 A 聞くこと・話すこと 「言葉で遊ぼう」

期	6月 4	①教師と一緒に物を大切にし、身の回りを整え、気持ちよく生活しようとする気持ちをもつ。 ②教師と一緒に考えて、日頃お世話になっている人々に感謝しようとする気持ちをもつ。	【A 節度、節制】 ①身の回りを整える 【B 感謝】 ②家族など日頃お世話になっている人	①自分の持ち物がわかり、教師と一緒に所定の場所に片付ける。自分で使った物はきちんと後片付けをする。 ②教師と一緒に考えて、スクールバスの運転手や介助の先生、給食の調理員等の仕事を知り、感謝の気持ちを持つ。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 ケ きまり 国語 A 聞くこと・話すこと 「言葉で遊ぼう」
	7月 2	①自分がやらなければならない勉強や仕事は、教師と一緒にしっかり行おうとする気持ちをもつ。 ②教師と一緒に友達の気持ちを考え、だれとでも仲よく助け合っている気持ちをもつ。	【A 希望と勇気、努力と強い意志】 ①自分の仕事 【B 友情、信頼】 ②友達と仲よく	①自分のことはできるだけ自分でやろうとする。最後までやりぬき、教師と一緒に成功の満足感を味わう。 ②友達に優しくしてもらった時に、嬉しかった気持ちを大切に。教師や友達と一緒に手を繋いで歩く。誰とでも仲良く遊ぶ。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 国語 A 聞くこと・話すこと 「呼びかけてみよう」
	9月 3	①教師や友達、他学年の友達に親しみ、教師と一緒に学校生活を楽しもうとする気持ちをもつ。 ②教師と一緒に身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接しようとする気持ちをもつ。	【C よりよい学校生活、集団生活の充実】 ①学校は楽しいね(2) 【D 自然愛護】 ②自然の中で(2)	①学級や学年、学部全体での学習を通して、教師や友達との関わりを楽しみ経験を積み、教師と一緒に学校生活を楽しむ。 ②教師と一緒に校内に咲いている草花を観賞したり昆虫をみつけたりして自然を感じる。花や野菜を大切に育てる。	生活 エ 遊び オ 人との関わり ケ きまり 国語 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう」

2 学 期	10月	4	①教師と一緒に約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にしようとする気持ちをもつ。	【C 規則の尊重】 ①きまりを守って	①よいことをして教師や友達に褒められ、教師と一緒に喜びを味わう。よいと思うことを進んで行う。よいこと、悪いことが何か分かる。	生活 エ 遊び オ 人との関わり ケ きまり 国語 A 聞くこと・話すこと 「どんな意味かな」 体育 ボールを使った運動やゲーム 器械・器具を使っの運動
	11月	4	①教師と一緒に、生命がもつたくましさやすばらしさに気づき、かけがえのない生命を大切にしようとする気持ちをもつ。	【D 生命の尊さ】 ①生命がもつ力	①けがをした時や、気分が悪くなった時は、教師に伝える。教師と一緒に危険な場所で遊ばないように気をつける。	生活 サ 生命・自然 国語 C 読むこと 「絵本をよもう」
	12月	3	①教師と一緒に気持ちのよいあいさつ、言葉遣いを心掛け、明るく接しようとする気持ちをもつ。	【B 礼儀】 ①いろいろな挨拶(2)	①教師や友達に対して、教師と一緒に朝や帰りの挨拶等、場に応じた挨拶をする。名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。何かをしてもらったら、お礼を伝える。	生活 オ 人との関わり カ 役割 国語 A 聞くこと・話すこと 「話してみよう」 B 書くこと 「かいてみよう」
	1月	3	①うそをついたりごまかしをしたりしないで、教師と一緒に素直に伸び伸び生活しようとする気持ちをもつ。	【A 正直、誠実】 ①いつも素直に	①うそをついたり、ごまかししたりすると、自分がいやな気持ちになることが分かり、素直な気持ちでいると、みんなが笑顔になれることが分かる。	生活 エ 遊び オ 人との関わり ケ きまり 国語 C 読むこと 「絵本をよもう」

3 学 期	2月 4	①教師と一緒によいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行おうとする気持ちをもつ。	【A 善悪の判断、自律、自由と責任】 ①よいと思うことをすすんで	①モラル場面において、よいことと悪いことの区別をし、状況に合わせた行動をしようとするについて、教師と一緒に自分との関わりで考えること。	生活 オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 ケ きまり 国語 C 読むこと 「絵本をよもう」
	3月 2	①教師と一緒に身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする気持ちをもつ。	【B 親切、思いやり】 ①温かい心で親切に	①友達が困っていると、それに気付いて教師と一緒に助けてあげる。進んで教師の手伝いをする。	生活 エ 遊び オ 人との関わり カ 役割 国語 C 読むこと 「絵本をよもう」
留意点 引継等					
評価方法		・ 行動観察 ・ その他教科に応じた評価方法			

令和8年 小学部 2年 (Ⅱ課程B) 特別活動 年間指導計画 (シラバス)

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
35	20名		

		年間目標					
		(知及び技) 知識及び技能	話し合い活動の過程において、自分の気持ちを発表したり、他者の話をきいたりすることができるようになる。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	基本的な生活習慣、約束やきまりを守ることの大切さに気づき、自ら考えて行動する力を養う。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築くことができるようにする。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
			(知及技) 学級、学年の一員であることを教師と一緒に知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に学級、学年を楽しむために、仲良く助け合うことができる。 (学・人) 教師と一緒に集団での活動に参加しようとする。	(知・技) 学級、学年の一員であることを教師と一緒に知ろうとできている。 (思・判・表) 教師と一緒に学級、学年を楽しむために、仲良く助け合おうと工夫している。 (主学) 教師と一緒に集団での活動に参加しようとしている。	○どうぞよろしくね会 ・学年、学級開き ・自己紹介 ・1学期始業式 ・入学式 ・新転入生を迎える会	・絵を見ながら教師と一緒に登場人物の音声や動きの模倣をする。 ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心をもって相手を見たり、音で模倣したり、返事したり簡単な言葉で表現したりする。 ・自分と登場人物を置き換えたり、教師や友達と役割分担をしながら繰り返し「おーい」と声を出して呼びかけ合ったり、手を挙げて応じたりしてやりとりを楽しむ。	○国語 A聞く・話す 「呼びかけてみよう」 B書く 「かいてみよう」 ○算数 A数量の基礎 「さわってみよう、探してみよう」 ○図画工作 表現 「作ってみよう」 「描いてみよう」
	4月	4	(知及技) 教師と一緒に1学期の行事を知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に自分の頑張りたいことを考え、選ぶことができる。 (学・人) 教師と一緒にになりたい自分を目指したり、振り返ったりして生活や学習に生かそうとする。	(知・技) 教師と一緒に1学期の行事を知ろうとできている。 (思・判・表) 教師と一緒に自分の頑張りたいことを考え、選んでいる。 (主学) 教師と一緒にになりたい自分を目指したり、振り返ったりして生活や学習に生かそうとしている。	○1学期頑張ろう会 ・行事の紹介 ・目標設定	○視覚教材を見て、1学期の行事や活動について知る。 ・頑張りたいことや楽しみなことを選択肢の中から選んで発表する。 (キャリアパスポートの活用)	
			(知及技) 教師と一緒に火災が起きたときの対応について知ることができる。 (思判表力) 安全に過ごすために教師と一緒に行動することができる。 (学・人) 教師と一緒に健康や安全に関心を持って取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に火災が起きたときの対応について知ろうとしている。 (思・判・表) 安全に過ごすために教師と一緒に行動している。 (主学) 教師と一緒に健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○火災避難訓練 ・事前事後学習	○動画や視覚教材を見て、自分の身を守る方法について知る。 ・実際にハンカチを口に当てたり、周囲の指示に従って避難する練習をしたりして、火災が起きた時の対応の仕方を知る。	
			(知及技) 教師と一緒に図書室利用の仕方が分かる。 (思判表力) 公共の場所での行動の仕方について教師と一緒に考えることができる。 (学・人) 教師と一緒にルールやマナーを考えて利用しようとする。	(知・技) 教師と一緒に正しい図書室利用の仕方ができている。 (思・判・表) 公共の場所での行動の仕方について教師と一緒に考えている。 (主学) 教師と一緒にルールやマナーを考えて利用しようとしている。	○図書館ってどんな場所？	○図書室オリエンテーションで図書室の利用の仕方を知る。	

I 学期	5月	4	(知及技) 教師と一緒に、学級目標を考えることができる。 (思判表力) 学級をよくするために、教師と一緒に活動することができる。 (学・人) 教師と一緒に、集団での活動に参加しようとする。	(知・技) 教師と一緒に、学級目標を考えることができる。 (思・判・表) 学級をよくするために、教師と一緒に考えて活動している。 (主学) 教師と一緒に、集団での活動に参加しようとしている。	○学級目標を考えよう	○どんな学級にしたいのかを考えて、発表する。	○国語 A聞く・話す 「言葉で遊ぼう」 「話してみよう」 B書く 「かいてみよう」 ○算数 A数量の基礎 「1つずつ合わせてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」
			(知及技) 教師と一緒に、心身の健康の保持に必要な行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力) 健康や安全に過ごすために、教師と一緒に行動することができる。 (学・人) 教師と一緒に、健康や安全に関心を持って取り組もうとする。	(知・技) 教師と一緒に、心身の健康の保持に必要な行動の仕方を身に付けようとしている。 (思・判・表) 健康や安全に過ごすために、教師と一緒に行動しようとしている。 (主学) 教師と一緒に、健康や安全に関心を持って取り組もうとしている。	○健康診断ってなに？ (身長体重・聴力・歯科・耳鼻・視力・心電図・内科検診等) ☆ここからわーく	○落ち着いて健康診断を受けるための練習をする。	
			(知及技) 道路の歩き方、横断歩道の渡り方について、教師と一緒に考えることができる。 (思判表力) 教師と一緒に、安全に過ごすために行動することができる。 (学・人) 教師と一緒に、健康や安全に関心をもって行事に取り組もうとする。	(知・技) 道路の歩き方、横断歩道の渡り方について、教師と一緒に、考えることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に、安全に過ごすために行動を工夫している。 (主学) 教師と一緒に、健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○交通安全指導 ・事前事後学習	○動画や視覚教材を見て、交通安全について知る。 ・実際に横断歩道を教師と一緒に渡る。	
			(知及技) 自分や友達の誕生日を知ることができる。 (思判表力) お祝いしたり、されたりする喜びを知り、自分や友達の誕生日をみんなて祝うことができる。 (学・人) 様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築こうとする。	(知・技) 自分の誕生日を知ることができる。 (思・判・表) お祝いしたり、されたりする喜びを知り、誕生日をみんなて祝おうとしている。 (主学) 様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築こうとしている。	○お祝いしよう(誕生日) ※年間を通して実施	○誕生会の司会、出し物等を教師と一緒に行う。 ・自己紹介を通して、好きなことや得意なことを発表する。	
	6月	5	(学・人) 教師と一緒に、自分の分担が分かり、進んで係活動に取り組もうとする。	(主学) 教師と一緒に、自分の分担が分かり、進んで係活動に取り組むことができる。	○係の仕事をしよう	○自分の係を知る。 ・係の仕事内容を知る。	○国語 A聞く・話す 「言葉で遊ぼう」 「話してみよう」 B書く 「かいてみよう」 ○算数 A数量の基礎 「1つずつ合わせてみよう」 「数えてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」 ○図画工作 A表現 「つくってみよう」 「描いてみよう」
			(知及技) 教師と一緒に、歯の働きや正しい歯磨きの仕方が分かる。	(知・技) 教師と一緒に、歯の働きや正しい歯磨きの仕方を理解することができる。	○歯を大切にしよう (歯と口の健康月間)	○歯の働きや歯を大切にするためにはどうしたら良いかを考える。	
			(知及技) 教師と一緒に、他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知る。 (思判表力) 活動の流れに興味を持ち、教師と一緒に、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりする。	(知・技) 他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知ることができる。 (思・判・表) 活動の流れに興味を持ち、教師と一緒に、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりしようとする。	○児童集会に参加しよう (3・4年発表)	○他学年の発表を見たり、児童会のダンスを踊ったりする。	

		(知及技) 不審者に出会ったときの対応について知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に、安全に過ごすために行動することができる。 (学・人) 健康や安全に関心を持って取り組むことができる。	(知・技) 不審者に出会ったときの対応について知っている。 (思・判・表) 教師と一緒に、安全に過ごすために行動している。 (主学) 健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○不審者対応避難訓練 ・事後学習 ・自分の身を守る	○自分の身を守る方法について知る。 ・実際に大きな声を出したり、周囲の人に助けを求める練習をしたりして、不審者へに出会った時の対応の仕方を知る。	
		(知及技) 教師と一緒に沖縄戦について知り、平和や生命の大切さに気づくことができる。	(知・技) 教師と一緒に沖縄戦について知り、平和や生命の大切さに気づいている。	○平和学習(慰霊の日)	○沖縄戦の様子について知る。 ・平和について友達と話し合い、自分なりのイメージを持ち、絵や文字に描く。	
7月	3	(学・人) 健康や安全に関心を持って取り組むことができる。	(主学) 健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○プライベートゾーン ・からだを知ろう ☆ここからわーく (生命の安全教育)	○ぼくのかからだ、わたしのからだ ・体の名称を知る	
	3	(知及技) 夏休みの過ごし方を考え、確認することができる。 (学・人) 1学期に頑張ったことや楽しかったことを振り返ろうとする。	(知・技) 夏休みの過ごし方を考え、確認することができる。 (主学) 1学期に頑張ったことや楽しかったことを振り返ろうとしている。	○1学期頑張った会 ・1学期の振り返り ・夏休みの過ごし方について	○写真や動画を見ながら1学期の振り返りを行う。 ・頑張ったことや楽しかったことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用) ・視覚教材をみながら、夏休みの過ごし方を確認する。	○国語 A聞く・話す 「言葉で遊ぼう」 「話してみよう」 B書く 「かいてみよう」 ○算数 A数量の基礎 「1つずつ合わせてみよう」 「数えてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」
9月	3	(知及技) 教師と一緒に、2学期の行事を知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に自分の頑張りたいことを考え、選ぶことができる。	(知・技) 教師と一緒に、2学期の行事を知ろうとすることができている。 (思・判・表) 教師と一緒に自分の頑張りたいことを考え、選んでいる。	○2学期頑張ろう会 ・夏休みの思い出発表 ・行事の紹介 ・目標設定 (学年・学級)	○夏休みを振り返り、夏休みの出来事について皆の前で発表する。 ・視覚教材を見て、2学期の行事や活動について知る。 ・頑張りたいことや楽しみなことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用)	○国語 A聞く・話す 「はなしてみよう」 B書く 「言葉で遊ぼう」 ○算数 A数量の基礎 「数えてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」
	3	(学・人) 健康や安全に関心を持って取り組むことができる。	(主学) 健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○自分の体を知る ・男女の身体の違い	○ぼくのかからだ、わたしのからだ ・体の名称を知る	
10月	3	(知及技) 教師と一緒に、他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知る。 (思判表力) 教師と一緒に活動の流れに興味を持ち、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりする。 (学・人) 教師と一緒に、様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築こうとする。	(知・技) 教師と一緒に、他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知ることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に活動の流れに興味を持ち、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりしようとする。 (主学) 教師と一緒に、様々な集団での学習に参加でき、望ましい人間関係を築こうとしている。	○児童集会に参加しよう (1・2年)	○他学年の発表を見たり、児童会のダンスを踊ったりする。	○国語 A聞く・話す 「はなしてみよう」 B書く 「言葉で遊ぼう」 ○算数 A数量の基礎 「数えてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」

2 学 期			(知及技) 教師と一緒に食べたいおやつについて話し合い、選んだりして決める。 (思判表力) 教師と一緒に、活動内容や準備などについて考え、実践する。 (学・人) 教師と一緒に活動を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりしながら取り組む。	(知・技) 教師と一緒に食べたいおやつについて話し合い、選んだりして決めている。 (思・判・表) 教師と一緒に、活動内容や準備などについて考え、実践している。 (主学) 教師と一緒に活動を楽しみにし、見通しを持ったり振り返ったりしながら取り組もうとしている。	○お楽しみ調理をしよう ・何を作るか、何味がいいか等の自己選択 ・役割分担をして、実際に調理をする	○食べたいおやつについて話し合う。 ・役割分担して、なかよく調理をする。	
	11月	3	(知及技) 教師と一緒に、地震や津波が起きたときの対応について知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に、安全に過ごすために行動することができる。 (学・人) 教師と一緒に、健康や安全に関心を持って取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に、地震や津波が起きたときの対応について知ろうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に、安全に過ごすために行動している。 (主学) 教師と一緒に、健康や安全に関心を持って取り組んでいる。	○地震津波避難訓練 ・事前学習 ・事後学習	○動画や視覚教材を見て、自分の身を守る方法について知る。 ・実際に身を隠したり、周囲の指示に従って避難する練習をしたりして、地震や津波が起きた時の対応の仕方を知る。	○国語 A聞く・話す 「はなしてみよう」 B書く 「どんな意味かな」 ○算数 A数量の基礎 「かぞえてみよう」 ○音楽 A表現 「うたおう」
			(知及技) 教師と一緒に、他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に、活動の流れに興味を持ち、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりする。	(知・技) 教師と一緒に、他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知ることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に、活動の流れに興味を持ち簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりしようとする。	○児童集会に参加しよう (5・6年)	○他学年の発表を見たり、児童会のダンスを踊ったりする。	
	12月	3	(知及技) 教師と一緒に正しい手の洗い方やうがいの仕方が分かる。	(知・技) 教師と一緒に正しい手の洗い方やうがいの仕方が分かっている。	○感染症対策をしよう ・手の洗い方 ・うがいの仕方 ・咳エチケット ☆ここからわーく (世界エイズデー)	○正しい手洗いの手順やうがいの仕方を身に付けるようにする。	○国語 A聞く・話す 「話してみよう」 B書く 「かいてみよう」 ○算数 A数量の基礎 「同じものを合わせよう」 ○音楽 A表現 「からだをうごかそう」
			(知及技) 教師と一緒に、学習発表会について知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に、自分の役割が分かり、活動に取り組むことができる。 (学・人) 教師と一緒に、学習発表会で頑張ったことや楽しかったことを考え、振り返ろうとする。	(知・技) 教師と一緒に、学習発表会について知ることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に、自分の役割が分かっている。 (主学) 教師と一緒に、学習発表会で頑張ったことや楽しかったことを振り返ろうとしている。	○学習発表会 ・事前学習 ・事後学習	○写真や動画を見て、学習発表会の日程や内容について知る。 ・自分の役割を知る。 ・振り返りを行う。 ・選択肢の中から選んで発表する。	
			(知及技) 教師と一緒に、冬休みの過ごし方を確認することができる。 (学・人) 教師と一緒に、2学期に頑張ったことや楽しかったことを振り返ろうとする。	(知・技) 教師と一緒に、冬休みの過ごし方を確認しようとしている。 (主学) 教師と一緒に、2学期に頑張ったことや楽しかったことを振り返ろうとしている。	○2学期頑張った会 ・2学期の振り返り ・冬休みの過ごし方 (学年・学級)	○写真や動画を見ながら2学期の振り返りを行う。 ・頑張ったことや楽しかったことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用) ・視覚教材をみながら、冬休みの過ごし方を確認する。	

3 学 期	1月	2	(知及技) 教師と一緒に、3学期の行事を知ることができる。 (思判表力) 教師と一緒に、自分の頑張りたいことを選ぶことができる。	(知・技) 教師と一緒に、3学期の行事を知ろうとしている。 (思・判・表) 教師と一緒に、自分の頑張りたいことを選ぼうとしている。	○3学期頑張ろう会 ・行事の紹介 ・目標設定 (学年・学級)	○視覚教材を見て、3学期の行事や活動について知る。 ・頑張りたいことや楽しみなことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用)	○国語 A聞く・話す B書く 「絵本を読もう」 ○算数 A数量の基礎 「おなじものをさがそう」 ○音楽 A表現 「からだをうごかそう」
			(学・人) 教師と一緒に、自己の課題解決のためによりよい実践方法を考えようとする。	(主学) 教師と一緒に、自己の課題解決のためによりよい実践方法を考えようとしている。	○心の鬼を退治しよう	○自分や友達の良いところ、直してほしいところを話し合う。	
	2月	3	(知及技) 教師と一緒に、他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知る。 (思判表力) 教師と一緒に、活動の流れに興味を持ち、簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりする。	(知・技) 教師と一緒に、他学年との交流に参加し、集会の簡単な流れを知ることができる。 (思・判・表) 教師と一緒に、活動の流れに興味を持ち簡単な活動に参加したり、他学年と関わったりしようとする。	○児童会役員引継式・任命式	○他学年の発表を見たり、児童会のダンスを踊ったりする。	○国語 A聞く・話す B書く 「絵本を読もう」 ○算数 A数量の基礎 「いろいろな形をみつけよう」 ○音楽 A表現 「からだをうごかそう」 ○生活 曜日課・予定 オ人との関わり カ役割 ○図画工作 A表現 「作ってみよう」
			(知及技) 教師と一緒に、食べたいおやつについて話し合い、選んだりして決める。 (思判表力) 教師と一緒に、活動内容や準備などについて考え、実践する。 (学・人) 教師と一緒に、活動を楽しみにし、見通しを持ったり振り返りながら取り組む。	(知・技) 教師と一緒に、食べたいおやつについて話し合い、選んだりして決めている。 (思・判・表) 教師と一緒に、活動内容や準備などについて考え、実践している。 (主学) 教師と一緒に、活動を楽しみにし、見通しを持ったり振り返りながら取り組もうとしている。	○お楽しみ調理をしよう ・何を作るか、何味がいいか等の自己選択 ・役割分担をして、実際に調理をする	○食べたいおやつについて話し合う。 ・役割分担して、なかよく調理をする。	
	3月	2	(知及技) 春休みの過ごし方を教師と一緒に、確認することができる。 (思判表力) 新学年へ向けての目標を、教師と一緒に考えることができる。 (学・人) 3学期に頑張ったことや楽しかったことを、教師と一緒に振り返ろうとする。	(知・技) 春休みの過ごし方を教師と一緒に、確認しようとすることができる。 (思・判・表) 新学年へ向けての目標を、教師と一緒に考えようと工夫している。 (主学) 3学期に頑張ったことや楽しかったことを、教師と一緒に振り返ろうとしている。	○3学期頑張った会 ・3学期の振り返り ・新学年に向けて ・春休みの過ごし方について	○写真や動画を見ながら3学期の振り返りを行う。 ・頑張ったことや楽しかったことを選択肢の中から選んで発表する。(キャリアパスポートの活用) ・新学年で頑張りたいことを考えて、皆の前で発表する。 ・視覚教材をみながら、春休みの過ごし方を確認する。	○国語 A聞く・話す B書く 「絵本を読もう」 ○算数 A数量の基礎 「大きさの違うものを選んでみよう」 ○音楽 A表現 「どうぶつになってあそぼう」
	留意点 引継等						
	評価方法		・三観点の確認 ・行動観察 ・授業に対する取り組み姿勢				